

# 情報コミュニケーション学部

SCHOOL OF INFORMATION AND COMMUNICATION

2024



# “Diversity” makes the world go round.



情報コミュニケーション学部長  
須田 努 (すだつとむ)

1959年生まれ。明治大学文学部史学地理学  
科考古学専攻卒業。早稲田大学大学院文  
学研究科日本史学専攻博士課程修了。  
2002年早稲田大学博士(文学)。2008年よ  
り明治大学情報コミュニケーション学部准  
教授、のち教授。著書に『「悪党」の一九世  
紀』『暴力の地平を超えて』『イコンの崩壊  
まで』『幕末の世直し』『逸脱する百姓』『比  
較史的にみた近世日本』など多数。

## 学部長メッセージ

### 「ガクの情コミ」で“志”を掲げる4年間

“何者かになりたい”と思い、将来の途を模索している皆さん。そのためには、まず「世界から貧困をなくしたい」というような大きな“志”を掲げましょう。学生各人の様々な“志”を支援するために、情報コミュニケーション学部は、学際性と多様性による「ガクの情コミ」というキーワードを提示しています。「ガク」とは学と楽を表しています。勉強・研究とは、本来楽しいものなのです。情コミでそれを実感できます。そこから、自分の進むべき道を見つけましょう。

#### 学部理念とカリキュラム

研究対象が複数の学問領域にまたがる学際性と多様性が魅力の情報コミュニケーション学部では、「社会の現在(いま)を捉える」、「多様で学域横断的なアプローチ」、「創造と表現」という3つの柱を理念としています。また、カリキュラムは、学生一人ひとりがそれぞれの興味・関心にあわせて講義・演習を自由に選択できることを重視し、必須科目を少数に設定しています。

#### アクティブ・ラーニングとゼミナール

情報コミュニケーション学部では、短期間で集中的に学ぶクォーター授業やフィールドワーク・ワークショップ・学外研修など、学生による主体的な活動を支援する科目を配置しています。また、1年次から4年次まで段階的に履修できるゼミナールを設け、自ら問題を発見・分析し、解決に導く能力を養うことを目指しています。

1・2年次では、一定のテーマを設定し、それについて文献を調査し、自分の意見をまとめ発表することを、3・4年次には、独自の研究テーマを設定し、論文や作品として制作・表現することを、それぞれ目標とします。与えられる学習ではなく、「学際的な学問・研究」から、自身の興味・関心がどこにあるのかを見つけ、“志”を掲げ、それを実現するための学問を探究することができます。

#### 国際交流

情報コミュニケーション学部は、段階的な国際交流プログラムを設定して、学生の国際交流・留学を支援しています。1つ目は「世界のキャンパスから」です。これは、本学部の教員がコーディネーターとなり、世界の大学・研究機関等で活躍している研究者等を招へいし講義・議論を行う、オムニバス形式の授業です。現地留学する前に本授業を受講し、希望する海外の大学、そこで学べる研究をイメージすることができます。2つ目は「ミッション遂行型現地留学」です。留学とは人生を左右する大きな経験です。ただなんとなく語学留学に行くのではなく、“志”にもとづいたミッション(課題・目的)を設定しましょう。本学部では、数週間の短期のプログラムから半年～1年間の長期の交換留学まで複数の国際交流プログラムを実施しています。この段階的な国際交流プログラムを活用することで、きっと“志”の実現に近づけるはずです。

わたしたち教員は、「ガクの情コミ」に集う学生を支援してゆきます。

動画と記事で学部を知る  
「Step into Meiji University」も  
ぜひご覧ください



## CONTENTS

学部長メッセージ	01
情報コミュニケーション学部概要	03
情報コミュニケーション学部の特色	
～個を育てる情報コミュニケーション学部の学び～	
①自分自身で「問い」を立て、多角的な視点からアプローチする楽しさを学ぶ	05

②大きな課題に対して、できることを考え、実践し、SDGsに貢献する	07
③教員と学生による座談会	
多種多様な分野が相互につながりあうことで、主体的に深めたい「ガクの情コミ」	09
カリキュラムの特長	11
自らカリキュラムをカスタマイズし、問題を発見・解決する4年間	

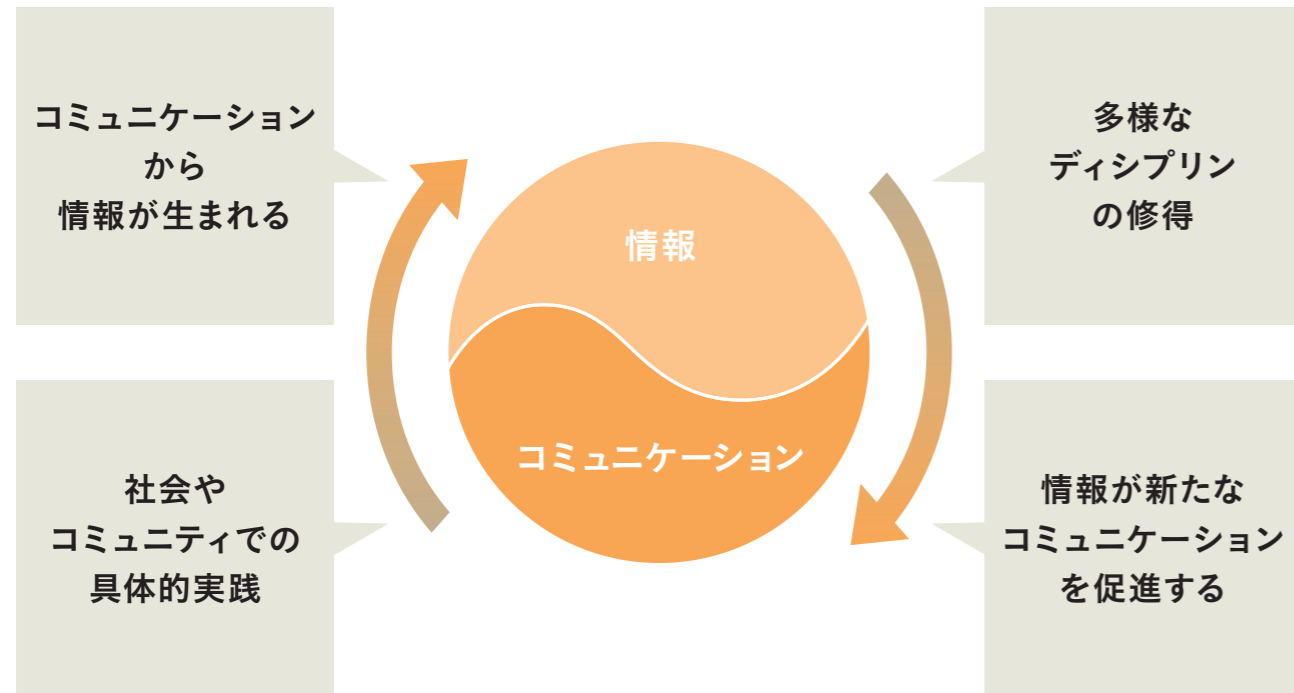
■1・2年次:多様な研究の最先端を知り、問題を発見する	13
■3・4年次:問題を分析し、解決する	15
ゼミナール教育	17
基礎教育・専門科目	19
国際交流	21
教員紹介	23
就職実績 資格取得	25

情報コミュニケーション学部生の1日	26
卒業生からのメッセージ	27
ジェンダーセンターの活動	29
入試情報	29

※登場する人物の在籍年次や役職等は、取材時点のものです。  
2022年以前撮影の写真も掲載しています。

# 動き出せ、イマ — 貫く多様性 広がる可能性 —

情報コミュニケーション学部を表象するこのキャッチコピーは、本学部卒業生が創作したもので、「情コミは、学問はもちろん、性・言語・宗教等すべてにおいて開かれた環境」であるという思いがコンセプトになっています。



## ▶ 情報コミュニケーション学部の3つの柱

### 1 社会の〈現在〉を捉える

旧来のケータイを抑えた iPhone や Android に代表されるスマホの大ヒット。Twitter や Facebook などの SNS (ソーシャルネットワークサービス) の爆発的普及と TV 離れ現象。そして 2016 年から本格稼働し始めたマイナンバー。現代社会はネットワーク技術に支えられながら高度情報社会の段階に突入しました。一方、こうした社会の情報化がネット上での様々な犯罪や情報セキュリティの問題を引き起こしたり、政治や経済のあり方に大きな変化をおよぼしてもいます。本学部はこうした情報社会の生きた現実と向き合い、問題を探るカリキュラムを用意しています。

### 2 多様で学域横断的なアプローチ

高度情報社会の問題は、複雑で多岐にわたります。従って、様々な分野の知が協働して問題に取り組まなければなりません。情報コミュニケーション学部では、社会科学を軸にしながら、人文科学や自然科学を取り込んだ学域横断的 (interdisciplinary) な視点から、また皆さんの主体的な取り組みを最大限尊重するようにカリキュラムが設計されています。

### 「ガクの情コミ」

「ガク」とは「学」と「楽」を意味しています。学問・研究という知的営為は楽しいものなのです。そして、情コミの「ガク」は多様性を表現しています。わたしたち (教員と学生) は、この「ガク」を通じて、現代社会で発生する様々な問題、たとえば、非常時の危機管理、ネット上での犯罪、多文化共生が唱えられる一方で広がる排他主義などに挑んでいきます。

### 「情報コミュニケーション」って

「情報」は、マスメディアや書籍、スマートフォンやパソコンなどを介してアクセスし取得する静的なもの、他方「コミュニケーション」は、人と人との言葉やジェスチャーを通じた動的な交流です。情報がコミュニケーションを促し、そしてコミュニケーションが新たな情報を生み出すわけです。「情報」と「コミュニケーション」は切り離すことができない、一体化したプロセスだとわたしたちは考えています。

### 学部プロモーションムービー

一人ひとりが興味をもった分野を深められ、その先で出会う好奇心、領域を越えた学びへの意欲に応える環境がここにある。そこには、学生本人が主体的に動き、これからの時代に、自分で人生を切り開く力を身につけてほしいというわたしたちの願いが込められています。本学部では、その魅力を、約2分間のプロモーションムービーとして公開しています。



### アクティブ・ラーニング

短時間で集中的に学ぶクォーター授業(\*)や、オンデマンド型で実施するメディア授業、フィールドワーク・ワークショップ・学外研修など、学生による主体的な活動を支援する科目を設置しています。  
\*通常授業より短い期間で学ぶことで、修得度向上や、空いた時間を留学等他の活動に活用することを目的としています。

### 3 創造と表現 (Creation & Expression)

情報コミュニケーション学部では、既存の伝統的な知の蓄積を尊重することと並んで、皆さんが自ら何かを創造し、そして、何らかのメディアを使ってそれを表現することを支援します。論文や文芸などの言語表現、ビデオやアニメなどの映像表現、ダンスやパフォーマンスなどの身体表現、ミュージッククリップやライブといった音楽表現など表現の手段は問いません。カリキュラムでもこうした実践をワークショップのかたちで拡充中です。

## 明治大学 情報コミュニケーション学部 の強み

高度情報社会で活躍する創造的な人材を育成

### Point 1 「学域横断」を実現する多彩な教養・研究科目群

社会科学を中心に人文科学、自然科学の諸分野におよぶ多彩な科目が履修可能です。ワークショップ形式の授業やクリエイティブ科目も充実しています。  
▶ 詳細は P.11 ~ 12

### Point 2 問題・課題によってカスタマイズできる柔軟なカリキュラム

多岐にわたる科目群から、皆さんが立てた問題や課題に沿って科目を選択・履修できる自由度の高いカリキュラム制度を採用しています。  
▶ 詳細は P.13 ~ 16

### Point 3 ミッション遂行型現地留学

単なる語学研修を越えたミッション (課題) 遂行型の国際交流プログラムを用意しています。  
▶ 詳細は P.21 ~ 22



※iPhoneは、Apple Inc.の商標です。 ※Android および Android ロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。  
※Twitter および Twitter ロゴは、アメリカ合衆国または他の国々におけるTwitter, Inc.の登録商標です。  
※Facebook および Facebook ロゴは、Meta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。

個を育てる情報コミュニケーション学部の学び①

Seminar Report

# 自分自身で「問い」を立て、 多角的な視点から アプローチする楽しさを学ぶ

思考力が鍛えられる  
“情コミ”のゼミ授業

大学での勉強は講義を聞くだけではありません。自ら課題を見つけ、どのような過程や方法で解決するかという思考力が問われます。本学部では、1年次からゼミナール形式の授業を設け、その力を養います。


自分で発見した現代社会の課題を  
あらゆる方向から見つめ直す

自ら「問い」を発見し、多角的な視点からアプローチを試みつつ、積み重ねた知識を再構成して結論を導き出すというノウハウは、大学で時間をかけるからこそ培うことができるものです。情報コミュニケーション学部では、基礎を養う時期である1年次からゼミナール形式の授業が用意されており、4年間で基礎・問題発見・問題分析・問題解決と段階的に学ぶことができるようになっています。▶P.17

根橋ゼミの研究テーマは多文化共生・異文化間コミュニケーション。近年、経済活動に伴う人の流れは国境を越え、ますますダイナミックになっています。自国を離れて働く人々と元々その土地に住む人々がともに生活する中、心の壁を取り払い、より豊かな多文化共生社会を構築するために何をすべきか。その答えを様々な活動を通じて、あらゆる視点で探っていきます。活動内容は外国

人集住地でのフィールドワークや、ヒューマンライブラリーの開催、米国の大学のコミュニケーション学部の学生とのオンライン交流等。学内にとどまらず、アクティブに外ともつながる活動を通じて学びが深められています。

大学へ入学するまで、多くの学生が暮らしてきたのは、同年代・同地域の人々に囲まれた、同質性の高い環境です。一方大学は、様々な地域から来る友人や、他学年の先輩・後輩、他の国から来日した留学生たちと交流できる場。物の見方や考え方の異なる人々と出会う環境です。中でも、ゼミでは自分と異なる考えや意見を交わせます。異文化間コミュニケーションや多文化共生と聞くと、多文化を知る・理解することをイメージしがちですが、「自文化を知る・尊重する→相手文化を知る・尊重する→相手文化に自文化を知ってもらう」というプロセスが重要。この考えのもと、実施されている根橋先生のゼミでは、単に相手を理解しようとするだけでなく、自分を知り、自分を知ってもらえるように発信する、そんなコミュニケーション力を養います。



MESSAGE **根橋 玲子** 教授

コロナ以前の私たちの社会は、経済活動に伴う活発な人の流れが当たり前のようにあり、その流れは国境を軽々と越えたと信じていました。コロナや様々な地域で発生している紛争は、図らずも私たちの社会が、このような流れを簡単に止められること、そしてミクロ・マクロの視点で容易に分断されることを露呈しました。しかし同時に分断があってもなお、人々は国を越えてつながっていることも明らかにしたと思います。日々移りゆく社会のあり方を、本学部で様々な視点から見つめ、豊かな学びを手に入れてください。

PROFILE -----  
米国ミシガン州立大学大学院卒業。Ph.D. (コミュニケーション学)。専門は異文化間コミュニケーション・多文化共生。立教大学・東海大学を経て2004年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2013年同教授。文化背景の異なる人々がともに働き・暮らす社会に関心を持ち研究・教育活動に従事。



左)ゼミでは、対話を重視しています。ゼミ生同士、他大学の学生やゲストスピーカー、フィールドワークやヒューマンライブラリーなどの活動では学外の人々ともつながります。中央、右)ヒューマンライブラリーは、多様な背景を持つ人々を「本」に見立て、少人数で対話することにより、「読者」として「本を読む」イベントです。

STUDENT VOICE

先入観を取り払い、  
物事の本質に意識を向ける

3年  
**河本 拓真**  
東京都立  
日野台高等学校卒業



多文化共生や異文化間コミュニケーションについて学ぶ根橋ゼミで培ったのは、「本質を考える力」です。自ら問いを設定して行うフィールドワークでは、日本にいる外国人の方にインタビューし、その土地に住むようになった経緯や歴史、住んでいて感じることを調査しました。また、ヒューマンライブラリーの活動で性的マイノリティの方や障がいのある方と交流し、様々な人の人生経験に触れたことも貴重な経験であり、印象に残っています。以前は、人やモノに対し無意識の内に先入観を持ってしまっていたのですが、ゼミに入ってから一度立ち止まって、本質に意識を向けられるようになりました。これからも、一方的に理解した気にならないよう、物事の本質を見極めることを忘れずに生きていきたいです。

PICK UP 注目授業

フジテレビ×情報コミュニケーション学部の  
メディアリテラシー講座「映像表現論」



テレビ番組制作を通じてメディアリテラシーを実践的に身につける「映像表現論」では、撮影方法や取材の段取りを学んだあと、学生たち自ら取材の交渉やインタビュー、撮影を行いVTRを制作します。フジテレビの湾岸スタジオではプロのスタッフの指導のもと、撮影機材などを使って番組を収録。学生たちはキャスターとして出演するだけでなく、番組やスタジオの進行を指示するディレクター、カメラ操作など役割分担し、番組を完成させていきます。



現場の近くで学ぶからこそ  
情報の発信者として大切なことに  
気づくことができました

4年  
**藤井 星奈**  
大阪府私立  
四天王寺高等学校卒業



映像表現論では、学生が主体となって、企画や構成から取材対象への交渉、撮影収録まで番組制作の流れを体験しました。その中で、制作には大勢の人が携わっていて、それぞれの仕事に大きな役割があることを知りました。たとえば、テロップを出すボタンを押すという仕事は、小さく見えますが視聴者に分かりやすく情報を伝える重要な役割を担っています。小さくても意味のない仕事はないことに気がきました。また、情報の発信者として番組制作を行うことで、メディアリテラシーの重要性を再認識。自分が何気なく発信した情報が、良くも悪くも誰かに大きな影響を与える可能性を忘れてはいけません。情報を発信する際は受け取り手がどう感じるかイメージして表現ができる人になりたいと思うようになりました。

個を育てる情報コミュニケーション学部の学び②

Creation & Expression

# 大きな課題に対して、 できることを考え、実践し、 SDGsに貢献する

## 神保町 コーヒープロジェクト

社会課題を解決するため、学生たちにできることは何があるでしょう。島田ゼミでは、独自のコーヒー文化を持つ神保町の魅力の発見・発信を通じて、「街づくり」と「SDGs」に取り組んでいます。

### コーヒー商品の開発を通じて、 途上国の貧困と街づくりに向き合う


社会にSDGsが浸透する中、島田ゼミが挑むのは「神保町コーヒープロジェクト」。2020年度、千代田区からの研究助成を受けて開始した、途上国のコーヒー生産者の生活改善と神保町の街づくりを目指す取り組みです。「途上国の貧困」と「街づくり」という2つの社会課題に取り組んでいる点がポイントです。神保町を対象にしているのは、この地域が古書街として有名でアマゾンや電子書籍の台頭といった経済のデジタル化によって大きな影響を受ける可能性があるからです。また神保町は古くからある喫茶店と現代的なカフェを備える多様なコーヒーの楽しみ方を提供できる場所でもあります。

プロジェクトでは、学生たちは遠く感じられる世界のことで、目の前の社会課題の両面に向き合っています。議論を重ね、コーヒーと書店の相乗効果を考慮した新たな街づくりについて提案。同時に、途上国のコーヒー生産者に寄り添ったコーヒー取引の

あり方も調査し提案しています。コーヒーハンターのJosé.川島良彰氏の協力を得て商品開発も行い、タンザニア産の2つのコーヒー豆を独自にブレンド。古書の街らしく「本に合うコーヒー」を味のコンセプトとし、「淹れてから時間が経っても美味しく飲む」ことにこだわった味わいになりました。

商品開発の他に、フリーペーパーやSDGsコーヒーマップなど神保町とコーヒーの魅力を明治大生視点で発信するツールも制作。SDGsコーヒーマップでは、フェアなコーヒーを取り扱っている神保町のお店を紹介しました。また世界食料デーには食品ロスの削減を目的とし、閉店時間がせまるパン屋で売れ残りそうな商品を仕入れて販売しました。廃棄されていたかもしれないパンを美味しく食べてもらうことが、食品ロスについて考えるきっかけになることを願った取り組みです。

プロジェクトを通じて、学生たちに身につけてほしいのは社会課題を解決する力。国際社会や地域社会に対する視点を広げ、社会のために役立ててほしいと思います。



**MESSAGE** 島田 剛 教授

情報コミュニケーション学部の特徴は「学際的」であることです。現場に近くなればなるほど、一つの学問だけでは問題を解決できません。新型コロナ禍は医学だけでなく、経済への影響も考えなければなりません。リモートワークを進めるためには情報技術やプログラミングなどの技術が必要になります。一つの学問だけでなく、多くの学問の専門知識を突き合わせて問題を解決する学際的な取り組みが必要になってきているのです。そうした学際的な学びを一緒にしましょう。

**PROFILE**

博士(学術、早稲田大学)。JICA(国際協力機構)、国際連合日本政府代表部一等書記官、静岡県立大学国際関係学部准教授、コロンビア大学客員研究員、アジア開発銀行コンサルタントなどを経て2018年より明治大学情報コミュニケーション学部准教授、2023年同教授。

## STUDENT VOICE

4年  
梶並 芽衣  
東京都立  
杉並総合高等学校卒業



### 様々な考えから学び、 多角的な視点で物事を捉える

ゼミでの活動を通じ、主体的に考える力が培われました。神保町コーヒープロジェクトでは商品開発に向けて議論する場面が多々あり、一人ひとりが自分の考えを持って発言する必要があります。他者の考えに触れては、自分の考えを見つめ直す。その繰り返しの過程で、自然と様々な視点から物事を見られるよ

うになったと感じます。受け取った情報に対し、自分なりの考えを持つ習慣もつき、視野が広がりました。社会に出れば、自分とは異なる立場や考えの人とかわる機会も増えると思います。積極的に様々な考えから学び、多角的な視点で物事を捉える姿勢を忘れずにいたいです。



ゼミ生たちが食品ロスに取り組んだ「3分の1のパン屋さん」



上) José.川島氏の協力のもとコーヒーブレンドの試作会を実施  
下) 島田ゼミ生の集合写真

## PICK UP 注目授業

### 世界各国から研究者を招へいして行われる オムニバス講義「世界のキャンパスから」

この授業では、世界各地の様々な大学で最先端の研究を行っている新進気鋭の研究者を招き、本学部の教員がコーディネーターとなって分かりやすく研究内容を紹介します。授業テーマは、メディア・音楽・ジェンダー・スポーツ・政治・ファッション等、分野を越えて多岐にわたります。この

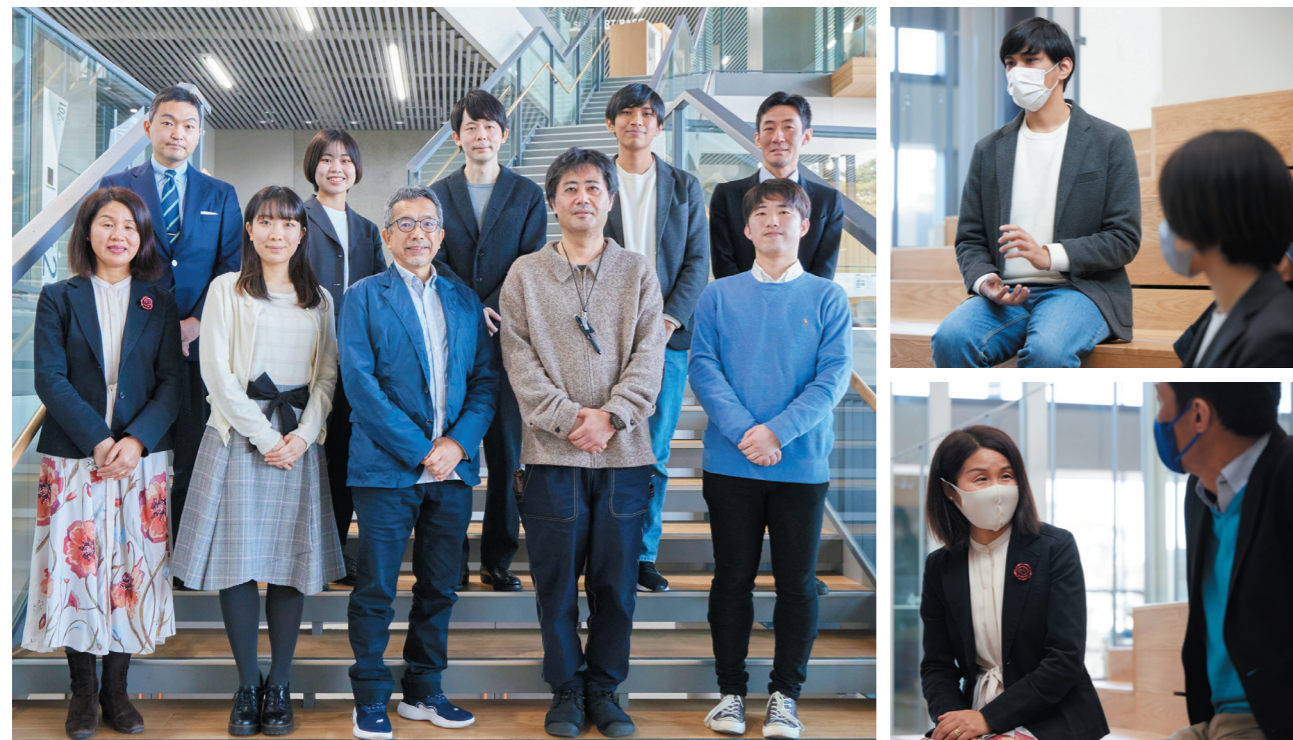
授業を受けることで、皆さんは世界の様々なキャンパスで、いったい何が問題として研究され、どのような授業が行われているのかを、日本にいながらにして知ることができます。興味を持った分野を本学部で極めるのも良いし、授業で出会った研究者の下へ留学することも良いでしょう。



教員と学生による座談会

# 多種多様な分野が相互につながりあうことで、主体的に深めたいくなる「ガクの情コミ」

様々な分野の学びが集う情報コミュニケーション学部。学生たちの自主性を尊重する、自由度の高いカリキュラムも大きな特長となっています。その魅力・環境・学び、そして「ポストコロナの大学教育の在り方」について、学部長をはじめとする教員と学生たちが語り合いました。



## 背景も目的も異なる学生が思い思いの道を探す学び舎

——情コミを志望した理由や、現在学んでいることを教えてください。

**小林** 最初から専門性にとらわれない自由な学びに惹かれ、情コミを選びました。学ぶうちにやりたいことが見つければよいと考え、幅広く学習した末に、都市や空間などについて研究されている南後先生のゼミに所属しています。

## コロナ禍における課題克服と学生の変化

——コロナ禍を経て、教育面で変化したことについてお聞かせください。

**南後** ゼミ活動の在り方が変わったと感じています。私は主に都

市、建築、空間をテーマに授業を行っており、ゼミではフィールドワークも多かったのですが、コロナ禍で制限され、従来とは違う方法を模索せざるを得ませんでした。そこで新たな取り組みとして、武蔵野美術大学の学生と協働で、『Tokyo Scope』という本を、2021年度から年1回ペースで制作・出版しています。2つの大学の間にはそれなりに距離がありますが、打ち合わせをWeb会議システムで行うことで、ぐっと作業のハードルが下がりました。また、今の学生たちはソーシャルメディアなどで大量の情報に触れてはいるものの、それらの多くは流れていくものです。それに対して、本という紙に文字を定着させ、自分たちで情報を発信することには責任がともないませんが、『Tokyo Scope』を通じて、その醍醐味を学生たちが学んでくれたのは有意義なことでした。

**清水**：2022年度から情コミはクォーター授業（※）といって、一部の授業を遠隔と対面、半々の割合で行うようになりました。遠隔だと何度も動画を繰り返し学習できるメリットがあるので、基礎知識は資料と動画での事前学習で培い、対面では応

<p><b>大黒 岳彦</b> 教授</p>  <p>研究テーマ：現代社会の（現在（いま）を多角的に掘り下げる） 担当科目：哲学、メディア論</p>	<p><b>須田 努</b> 学部長</p>  <p>研究テーマ：日本近世・近代の社会文化、民衆暴力 担当科目：歴史学、社会文化史、異文化コミュニケーション史</p>	<p><b>施 利平</b> 教授</p>  <p>研究テーマ：恋愛・結婚・家族の社会学 担当科目：家族社会学</p>	<p><b>清水 晶紀</b> 准教授</p>  <p>研究テーマ：現代社会の諸課題について行政的視点を踏まえた法政策を提言する 担当科目：現代行政と法</p>	<p><b>南後 由和</b> 准教授</p>  <p>研究テーマ：都市・建築・デザイン社会学とメディア論 担当科目：都市情報論</p>	<p><b>日置 貴之</b> 准教授</p>  <p>研究テーマ：日本演劇研究。江戸時代後半から明治時代の演劇（歌舞伎）における災害や戦争の描写 担当科目：日本文学、日本文化論</p>
<p><b>WEB座談会 全文紹介ページはこちら</b></p>  <p>大学のHPでも閲覧可能です。</p>		<p><b>村上 詩歩</b></p>  <p>4年 須田ゼミナール所属 神奈川県 私立森村学園高等学校卒業</p>	<p><b>小林 未侑</b></p>  <p>3年 南後ゼミナール所属 東京都 私立立教女学院高等学校卒業</p>	<p><b>ジャヤピクラマ 幸一</b></p>  <p>2年 高橋・南後ゼミナール（春）中里ゼミナール（秋）所属 東京都私立立教女学院高等学校卒業</p>	<p><b>佐々木 暖人</b></p>  <p>2年 宮本ゼミナール所属 神奈川県 私立山手学院高等学校卒業</p>

用的な論点の解説や演習の時間に充てるなど役割を明確に分けています。この方法は学生からも好評です。ただ、自ら学ぶ意思がなければ授業についていくのは難しいスタイルだとも言えます。そのため、学生には主体性を持って学習に取り組んでほしいです。

※クォーター授業では、遠隔と対面の半々で行う授業に加えて、全て対面を実施する授業もあります。

——学生の皆さんにとって、コロナ禍はどのような変化をもたらしたのでしょうか。

**ジャヤピクラマ**：対面授業が復活してもオンデマンド授業が残り、時間の余裕ができて今の状況を活かし、様々なことにチャレンジするようになりました。授業を受けるだけでなく、そこで得た力を具体的な活動に活かすことが大切だと思うので、クォーター授業を始めた情コミで学べてよかったです。

**村上**：コロナ禍以前、歴史と言えは当時の為政者や政治的な動きに焦点を当てて学ぶことが多かったのですが、コロナ禍で大きな世論が民衆から生まれる様子を見て、市民に焦点を当てた歴史学を研究したいと思うようになりました。新たな視点で物事をとらえられるようになったと感じます。

## 五感すべてで現地の空気を感じる留学経験

——コロナ禍の時代における、留学や国際性についての考えをお聞かせください。

**施**：私の専門はアジアの家族社会学でアンケート調査なども可能ですが、やはり現地でのフィールド調査は必要だと感じています。また、学生にとっても、オンラインで日本にいながら海外の授業が受けられるようになったのは大きなメリットですが、実際に海外に行って過ごしてこそ、得られる気づきがあります。

**日置**：私の専門は江戸時代末期から明治時代の日本演劇です。教育面の話をする、学生の中には「日本人だから日本について知らなければならない」という人がいますが、ただ知識を身につけて終わってほしくはありません。ではその「日本人」とは何なの

か、「日本文化」とそれ以外の文化の境目はどこにあるのか、といったことを自分なりに考えてほしいと思っています。

——学生の皆さんはどのように考えていますか。

**佐々木**：留学は、自分の興味のある分野を見つけるきっかけになると思います。高校時代に留学を経験し、授業で新聞記事を書いたり、演劇について学んだりしたことがあり、新鮮でした。情コミの留学制度を活用し、海外の学校ならではの学びや多様な背景を持った人との交流に刺激を受けて、将来の方向性が定まる人もいるはずです。

## 自分だけのカリキュラムを基に何通りにも成長できる場

——受験生へのメッセージをいただけますか。

**須田**：ギタリスト、冒険家、考古学者…私には複数の夢がありましたが、あるとき歴史学と出会い、初めて書いた論文が評価されたことがきっかけで今の道に進みました。後で気づいたのですが、現在の仕事とそれまでの夢には「自ら発信したもので、誰かに感動を与える」という共通点がありました。情コミの学生には、職業そのものを目指すのではなく、「何者かになりたい」という大きな志を持ってほしいですね。

**ジャヤピクラマ**：強いこだわりや自身に問題を抱えている人に向いている学部ではないでしょうか。目的達成のために、幅広い学びから得た多様な知識を活用すればよいと思います。また、一つの分野でも様々なタイプの先生がいらっしゃるので、多面的に学ぶことができます。

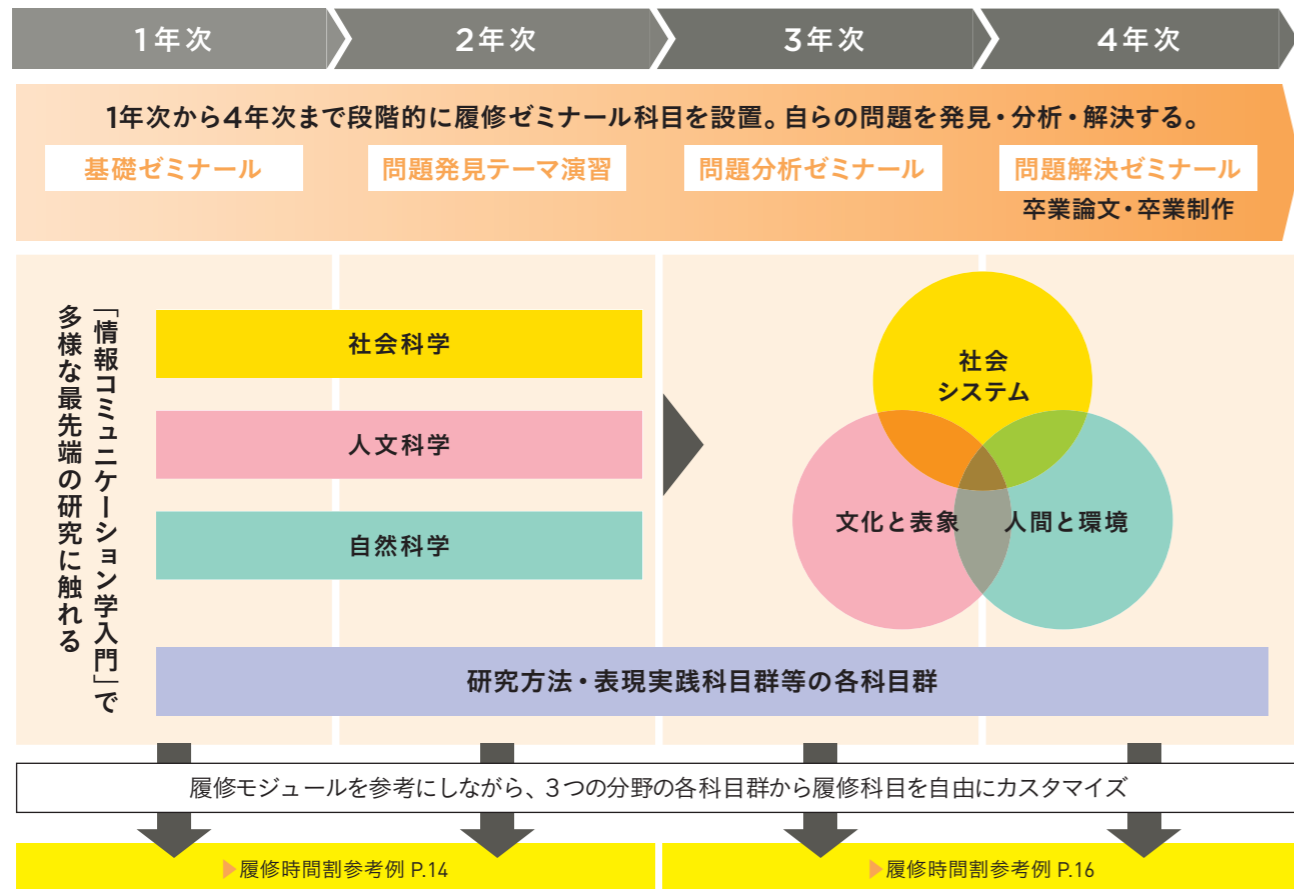
**大黒**：入学時にやりたいことが明確でなくても構いません。でも、熱中できるものを見つけてやろうという気概を持った方がいい。高校までの教育では型を学ばなければなりません、大学はむしろ自分で新しい型を創る場です。自分の興味や進むべき道を見出せるフィールドは用意しますが、具体的な道筋は自分たちで創ってください。好奇心旺盛で、好き嫌いをせず、何か楽しいことをやってみたいという情熱のある人は、ぜひ情コミへ。

# 自らカリキュラムをカスタマイズし、 問題を発見・解決する4年間

高校時代と違い、大学での学問・研究は主体的なものです。

ひとから強制されたり上から押し付けられたりするような学習は大学の本来の学びとは無縁のものです。

本学部はみなさんの主体性を最大限に尊重し、また伸ばすことを目的としたカリキュラムを組んでいます。



## [ カリキュラム体系図 ]

	1年次	2年次	3年次	4年次
ゼミナール科目群	基礎ゼミナール	問題発見テーマ演習 A・B	問題分析ゼミナール I・II	問題解決ゼミナール I・II 卒業論文・卒業制作
学際科目群	情報コミュニケーション学入門 A・B			情報コミュニケーション学
社会科学	家族社会学概論 ジェンダー論 情報倫理 マクロ経済学	環境と社会 市民社会と法 I・II 社会学 A・B 政治学 ミクロ経済学	経営学 憲法 A・B 社会心理学 A・B 情報社会と経済 犯罪と法 I・II 法学	
人文学	異文化理解 新興国事情 地理学 比較文化(基礎) A・B	英語文学 A・B 心理学 A・B 哲学 メディア批評	外国文学 生命論 A・B 東洋史概論 歴史学	言語学 宗教学 小集団コミュニケーション 地域文化論(基礎) 地誌学 パブリック・スピーキング
自然科学	科学技術史 人類学 A・B	環境生物学 地球環境科学	情報科学 脳科学	情報検索論
社会システム				イノベーションの経済学 NPO論 現代型犯罪と刑法 I・II 国際経済論 A・B 社会福祉学 A・B 人権と政策 ビジネスと法 A・B
文化と表象				現代アメリカ政治論 国際関係論 I・II ジェンダーと法 A・B 情報政策論 A・B 情報法 A・B 知的財産法 A・B 犯罪社会学 メディア論
人間と環境				アート・マネジメント 近・現代史 I・II 社会文化史 スポーツ・ジャーナリズム 地域文化論(スペイン) 地域文化論(スウェーデン) 地域文化論(中国) 地域文化論(朝鮮) 地域文化論(イスラム) 超域文化論 日本文化論 A・B 倫理学
外国語科目群	English Skills A1・II (基礎 中級 上級) English Skills B1・II (基礎 中級 上級) Speech & Debate A・B	ドイツ語 A1・II フランス語 B1・II 中国語 A1・II 韓国語 B1・II	Critical Reading Critical Discussion Critical Writing A・B	English Seminar I・II 英語コミュニケーション I・II 英語音声学
研究方法・表現実践科目群	(情報リテラシー科目) ICT データベース I・II ICT データ解析 I・II ICT アプリ開発 I・II ICT 統計解析 I・II ICT メディア編集 I・II ICT コンテンツデザイン I・II ICT 総合実践 I・II ICT ネットワーク技術 I・II・III	演劇学 クエスチョン・コミュニケーション 身体コミュニケーション A・B メディア・アート	デジタルアート A・B 非言語コミュニケーション メディア教育論	アルゴリズム実習 I・II ネットワーク技術 IV
海外留学科目群	国際交流 ウェルネス A・B	留学関係科目(語学・実習) A ウェルネス・スポーツ A・B	留学関係科目(語学・実習) B ウェルネス・スポーツ A・B	留学関係科目(講義) A 留学関係科目(講義) B ウェルネス・スポーツ C・D
その他	キャリアデザイン科目群 情報リテラシー科目群 総合講座	キャリアデザイン ICT ベーシック I・II	インターンシップ入門	インターンシップ 総合講座 A~D
総単位	※ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・タイ語の中から1か国語(ただし、外国人留学生については日本語)を選択			

### 3つのポイント

- 特長 1 学際的学問分野を段階的に**  
 1年次に専任教員がオムニバス形式で授業を行い、多様な研究分野を紹介する「情報コミュニケーション学入門」を、3年次には様々なテーマに基づき専門家を招へいし、オムニバス形式で授業を行う「情報コミュニケーション学」を設置することで、情報コミュニケーション学という学際的学問分野を段階的に学習できるようにしています。
- 特長 2 履修科目のカスタマイズ**  
 本学部のカリキュラムは『専門科目群』『研究方法・表現実践科目群』の2つが柱となり、それぞれを学部の特長的な科目によって構成しています。入学後、学問・研究の基礎を身につけながら、「履修モジュール」を参考に自身の興味・関心のあるテーマに沿った履修科目を自由にカスタマイズしていきます。
- 特長 3 全学年にゼミナール科目を設置**  
 1年次から4年次までのすべての学年にゼミナール科目を設置し、問題の発見から解決までの過程を自ら主体的に学べるようにしています。

### PICK UP

**英語コミュニケーション能力特別強化プログラム**

**「SPICE」**

情報コミュニケーション学部では、国際社会に対応できる言語力とコミュニケーション能力を身につけた学生を育成するために、独自の特別英語クラスである SPICE (Special Program for Information & Communication in English) を 2014 年度より設置しました。2013 年度から高校の英語に「コミュニケーション英語」が導入されたように、単なる会話以上の内容を議論できる能力が求められています。SPICE は、20 人以下の少人数選抜クラスで、英語でコミュニケーションができる学生を養成します。このプログラムを通じて、グローバル化時代において世界で活躍できる人材の育成を目指します。

**コミュニケーション能力重視・内容中心 (content base) の授業**

英語で「スピーチ」「ディベート」「ディスカッション」ができるようになるためのトレーニングを行います。会話のためのコミュニケーションに限らず、専門的な学問を「英語」で理解するための講義も用意しています。

**経験豊かな教員陣**

選抜された少人数の学生に向けて、ネイティブ・スピーカーや海外留学経験のある教員が実践的な授業を行います。授業だけでなくホームワークを効果的に取り入れて、自習時間の指導にも力を注ぎます。



短期・長期留学に関するアドバイスなども提供し、海外を目指す学生をサポートします。

# 多様な研究の最先端を知り、問題を発見する

「情コミ」には、さまざまな研究分野をテーマにしている専任教員が多数在籍しています。1年次は、「情報コミュニケーション学入門」を履修し、各回交代で登場する専任教員の専門的な視点からの講義を受講します。現代社会のさまざまな問題に関する多彩なアプローチの仕方を垣間見ることは、自らが探究する研究を設定するうえで、大きな道標となります。講義科目では、「社会科学」「人文科学」「自然科学」という大きく3つに分類された科目群から、自らが興味・関心のある科目を選択することができます。また、選択必修外国語（英語以外の外国

語）教育は、言語（語学）を通じて異文化を知り、それを尊重するということを目的としています。そのための講座を「演習」科目として設定してあります。「ガクの情コミ」は、ゼミナール教育にも力を入れています。1年次には「基礎ゼミナール」が設けられ、ここで、論理的思考、資料の収集・分析、論文・レポート、プレゼンテーション等の基礎を修得します。2年次には「問題発見テーマ演習A・B」が設置されており、ひとつのテーマについて集約的な議論や輪読、また、フィールドワークや作品制作などを少人数で行い、研究を達成するための能力を育成します。

## 履修モジュールとは

本学部では、1年次から段階を経て学際的知識を修得することが可能となるカリキュラムを設けてあります。卒業要件の124単位のうち、専門科目群に関しては、選択必修科目として64単位以上を履修する必要があります。1・2年次では「社会科学」「人文科学」「自然科学」の[3フレーム]から計10単位（社会科学フレームから4単位、人文科学フレームから4単位、自然科学フレームから2単位）以上を、3・4年次では、残りの履修単位を勘案して、「社会システム」「文化と表象」

「人間と環境」の3つのフレームから自由に履修することができます。学生は自己の問題関心に従い、主体的にカスタマイズした科目履修が可能となります。

わたしたちは、それを支援するために研究課題・問題意識を具現化した[履修モジュール]というものを用意しました。もちろん、この[履修モジュール]は例示でしかありません。学生はそれを参考にして、履修科目を自由にカスタマイズすることができるわけです。

## 履修モジュールの一例

テーマ	1・2年次	3・4年次
現代社会における企業に倫理は求められるか	経営学/組織論/社会心理学A・B/社会学A・B	組織コミュニケーションA・B/組織と情報/不確実性下の人間行動/倫理学/コーポレート・ガバナンスI・II
表現することと社会・政治・法の間を調べる	メディア・リテラシー/政治学/市民社会と法I・II/社会学A・B/小集団コミュニケーション	情報社会論A・B/現代型犯罪と刑法I・II/知的財産法A・B/情報法A・B/個人と国家/組織と情報/ビジネスと法A・B
「芸術(アート)」と「コミュニケーション」が交差する世界を探究しよう	美学・芸術学/身体コミュニケーションA・B/音楽論/メディア・アート	音楽表現論/身体表現論/映像表現論/造形表現論/メディア教育論/デジタルアートA・B/アート・マネジメント
日本の国際社会における将来を隣国との関係から考える	日本史概論/東洋史概論	異文化コミュニケーション史/国際関係論I・II/社会文化史/近・現代史I・II/地域文化論
メディアにおける都市のイメージを分析する	社会学A・B/異文化理解/地誌学	都市情報論/人文地理学/広告論/メディアの歴史/記号論
「いのち」の観点から人間と社会を考える	生命論A・B/社会学A・B/家族社会学概論/哲学/組織論	生命思想史I・II/倫理学/科学技術と人間

## 情報コミュニケーション学入門

「情報コミュニケーション学入門」では、本学部教員が執筆・編集した『情報コミュニケーション学への招待』（ミネルヴァ書房、2022年）をテキストとして活用し、オムニバス形式で担当教員がそれぞれの専門的視座から現代社会の諸問題について講義します。

今後の社会で生じる問題は、より一層、複雑で多岐にわたることが予想されます。このような社会を理解し、積極的にかかわっていくには、広い視野で状況をとらえ、様々な領域にまたがる知を協働して問題に取り組むことが重要です。この講義を通じ、自ら問題を設定し、学域横断的な視点・アプローチで問題に取り組むための力を養うことを目的としています。

## 「情報コミュニケーション学入門」で行われた授業テーマ(一例)

タイトル	担当教員
【生活から社会を解き明かす】 つながる私たち：恋愛、結婚と家族のあり方	施利平
【生活から社会を解き明かす】 現代の罪と罰—法律学を学ぶためのプレリユード	阿部力也
【文化から社会を考える】 舞踊の国際研究から共創へ—琉球・韓国の比較舞踊学	波照間永子
【文化から社会を考える】 イスラームから読み解く政教関係	横田貴之
【コミュニケーションから世界を読む】 おとなりさんは外国人—多文化共生と異文化コミュニケーション	根橋玲子
【コミュニケーションから世界を読む】 組織やコミュニティにおける監視—「見張り」と「見守り」	竹中克久

## STUDENT VOICE

1年

多角的な観点から物事を見て、考え、積極的に行動する力を強みに



野村 渚紗

千葉県立鎌ヶ谷高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 志望校を決めるとき、私は具体的な夢が決まっていませんでした。あったのは、幅広い分野に興味を持ち、学びたいという思いです。自分の興味に合わせて履修を組める情報コミュニケーション学部は、そんな私にぴったりでした。自由な環境だからこそ、自分自身で考える機会が多くあることも魅力を感じています。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 岩淵先生のゼミナールでは、いのちについての本を読み、思想家たちの考えも学びながら、いのちに関する様々な問題について話し合います。正解を決めることは難しいのですが、良い点も悪い点も含めて、自分なりに考えることの大切さを実感。一人ひとりの考えに触れられるなど、少人数のゼミならではの良さも感じています。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 卒業後の目標は、好奇心を持ち、学び成長し続けること。世界中を巡り、実際に自分の目で見て多様な文化や価値観を知りたいと考えています。強みにしたいのは、学部での幅広い学びを活かし、多角的な観点から物事を見て、自ら考えて積極的に行動する力。また、語学力を仕事で活かせるようこれからも勉学に励みます。

## STUDENT VOICE

2年

学部の学びから得た異文化を理解する力とデータ分析スキルをビジネスの場で活かす



山口 卓也

千葉県立中央国際高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は？

Answer 目標が決まっていなかったため、履修の自由度が高く、様々な科目を学べる本学部の魅力に惹かれて入学しました。多様な分野に触れて、物事を多角的に捉える力を磨けると考えたことも志望理由のひとつ。また、情報化社会に必要なデータ処理や統計を通じて、高度な情報を活かす力を修得できることにも、メリットを感じました。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 和田先生と川島先生の「国際交流(インドシナ)」です。日本と東南アジアの国々、計4か国の学生とWeb会議システム上やSNSで交流し、海外からの視点を通じて、日本の当たり前を見つめ直す貴重な経験ができます。また、日本の産業廃棄物のリサイクル状況を伝えるためフィールドワークも行い、これまで住んでいても知らなかった日本のことを知ることができた有意義な時間を過ごせました。

Q 将来の目標や目指す進路は？

Answer 気象情報などのデータを活用して、ビジネスの効率化に挑むことが目標です。たとえば、天候に左右される商品の入荷量を気象情報に応じて的確に調整できれば、最適な利益を得られるだけでなく、ロスの軽減にもつながるはず。学部で学んだ異文化理解力とデータ処理のスキルは、ビジネスの場で必ず役立つと信じています。

## [1年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	フランス語BI フランス語BII	-	-	-	-
2	-	ジェンダー論	English CommunicationIA English CommunicationIB	宗教学 キャリアデザイン	フランス語AI フランス語AII	-
3	音楽論 演劇学	-	EnglishSkillsBI EnglishSkillsBII	- 言語学	-	-
4	English Skills AI English Skills AII	Speech&DebateA Speech&DebateB	-	基礎ゼミナール 基礎ゼミナール	-	-
5	-	クリエイティブ・コミュニケーション 国際交流(世界のキャンパスから)	-	- パブリック・スピーキング	-	-
6	-	-	-	-	-	-

## [2年次の時間割参考例]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	-	小集団コミュニケーション 情報科学	-	-
2	-	問題発見テーマ演習A	-	ICTメディア編集I ICTメディア編集II	-	-
3	-	エネルギーと環境I	-	問題発見テーマ演習A 組織論	-	-
4	-	インターシップ入門	-	Critical Discussion 言語学	プログラミング実習I プログラミング実習II	-
5	-	-	専門情報リテラシー(法情報) 特別テーマ研究科目A 特別テーマ研究科目B	クリエイティブ・コミュニケーション Critical Reading(上級)	スペイン語演習I スペイン語演習II	-
6	-	-	-	-	-	-

春学期集中講義等：国際交流(インドシナ)、哲学、心理学A  
秋学期集中講義等：国際交流(インドシナ)、総合講座D(情報化社会)、生命論B、心理学B



# 問題を分析し、解決する

3年次以降に学習できる科目は多岐にわたりますが、必修科目はありません。「社会システム」「文化と表象」「人間と環境」と大きく3つに分類された科目群の中から、自己の興味・研究目的に合致した科目を履修すれば良いのです。時には何から学んで良いか分からなくなるかもしれませんが。そのために、履修モジュールを策定しています。この履修モジュールは、授業科目間の関係性を明確にし、授業選択のガイドラインの役割を果たしています。3年次からは「問題分析ゼミナール」が開始され、4年次の「問題解決ゼミナール」へと続いていきます。「ガクの情コミ」の最終段階で

す。このゼミナールは、各担当教員の主要担当科目から設定したテーマを学習する中で、現代社会における情報コミュニケーションの意義と機能を踏まえて、問題点のさらに深い理解と洞察力を養うことを目的としています。4年次の「問題解決ゼミナール」の中には卒業論文作成を目的としたゼミナールもあります。それを選択した学生は「卒業論文・卒業制作」という科目を履修し、情コミの4年間の集大成として卒業論文や卒業制作に取り組むことができます。また、その研究成果を情コミが毎年発行している『情コミ・ジャーナル』に発表することもできます。

## 第16回情コミ・ジャーナル(論文部門)表彰作品

### 優秀論文(2本)

論文タイトル	学年
刑罰威嚇とプラットフォームによる表現規制が誹謗中傷行為に及ぼす影響	4
J-POPにおける歌詞の聞き取りやすさと特殊モーラの自立性について	4

### 佳作論文(5本)

論文タイトル	学年
認知的特性と SNS リスクについての分析 認知的特性が変化させる情報開示—SNS 利用と個人情報開示のリスク—	4
スクール・サポーターの実態と「チームとしての学校」施策に与える影響	4
傷痍軍人の妻が生きた 20 世紀の日本社会	4
欧米と日本における青年女性の体型に関する認識の変容	4
エジプトにおける権威主義体制の再考 —スイススイー政権の正統性に関する一考察—	4



『情コミ・ジャーナル』の表彰式



## STUDENT VOICE

4年  
津田 葵  
神奈川県私立  
フェリス学院高等学校卒業



## 4年間の多彩な学びを活かし、情コミならではの論文に

私は情コミ・ジャーナルでJ-POPの歌詞を言語学の観点から分析する論文を執筆しました。研究を進める中で、特に役立ったのは3年生までの授業で学んできた統計的手法。資料や調査結果の論理的な分析により、説得力のある文章が書けました。また、1年次のゼミナールで学んだ音楽の知識も活かすと感じます。言語学と音楽という、一見かわりがないように見える分野を結びつけて考えられ

たことで、学際的に学べる情コミならではの独自性のある内容になりました。情コミ・ジャーナルの執筆を通して身につく、伝わりやすい文章を書く力は様々な場面で強みになるはずです。卒業後はIT企業に就職予定。IT業界では学ぶことが多い上に、日々学ぶべきことが更新されます。論文執筆によって培われた膨大なデータを扱う忍耐力や疑問点を調べ尽くす姿勢を活かしていきたいです。

## [ 早期卒業制度 ]

明治大学情報コミュニケーション学部では、成績が特に優秀な学生を対象に早期卒業制度を導入しています。明治大学大学院情報コミュニケーション研究科をはじめ、そのほかの大学院への進学を希望する学生は、3年次終了時に大学卒業資格(学士)を得て、進学することが可能です。

## STUDENT VOICE

3年

自由な学びの環境の中で自分に必要なものを見極められるようになった



齊藤 真里奈

京都府立宮津高等学校  
(現 京都府立宮津天橋高等学校) 卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は?

Answer 興味のある分野の学びを突き詰められると考えたからです。様々なことに興味を持つタイプなので、必修の授業がほとんどなく知的的好奇心に従って授業を履修できる点がとてもマッチしていました。学生も多様な考え方を持つ人ばかり。グループワークでは自分とは異なる思考に触れ刺激を受けるとともに、価値観を広げることができます。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer 「インターンシップ入門」です。オムニバス形式で、講師は一般企業に勤める社会人の方が交替わりで担当してくださいます。講師の業種や経歴は様々。幅広い業界に触れることができるため就職活動にも非常に有益だと感じます。この授業をきっかけに特定の業界に興味を持ち、3年次から関連する授業を履修することができました。

Q 将来の目標や目指す進路は?

Answer 何歳になってもビジネスの現場に立ち続けることが私の夢です。そのためには、常に世の中の情報を追いつき、知的的好奇心に従って学び続けることが必要だと考えます。本学部では、個人で選べるプログラムが多いため、自分に必要なものを取捨選択する力が身につきました。社会人になってもこの視点を活かして取り組んでいきたいです。

## [ 3年次の時間割参考例 ]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	-	-	身体表現論	-	情報社会と教育	-
2	-	談話コミュニケーションI	-	-	-	-
3	-	談話コミュニケーションII	-	-	経済思想史	-
4	ICTアプリ開発I	国際関係論I	専門演習リテラシー(インタラクティブCG)	-	-	-
5	デジタルプレゼンテーション	国際関係論II	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目: デジタルアートI、ビジネスと法A、知的財産法I、財産と法A、日本文学  
人文地理学、ビジネスと法B、知的財産法B、財産と法II  
※「メディア授業」…PC等を利用し、授業の一部もしくは全部を教室以外の場所で受講できる授業。

## STUDENT VOICE

4年

多様な価値観に触れて得られた知見を活かし、様々な立場の人に寄り添いたい



小野 久遠

東京都立小金井北高等学校卒業

Q 情報コミュニケーション学部を選んだ理由は?

Answer 幅広い学問を多角的に学ぶことができる環境であり、自分の得意分野を伸ばしながらそれを活かせる領域を探ることができると感じたからです。情コミは必修科目が少なく、自分の興味関心の赴くままに授業の履修が可能です。その中で新しい学問に出会い、得た知見をどう活かせるかを考え抜くことができる点が、最大の魅力だと思います。

Q 印象に残っている授業を教えてください。

Answer ジェンダー意識の変化にフォーカスしながら組織の人的資源問題について学んだ「ジェンダー・マネジメント」です。講義を通じ、自分らしく働ける組織とはどういったものかを考えるきっかけになったと同時に、日本の労働人口が年々減少する中で、もっと積極的に性別や年齢の壁を超えての経済発展が必要だと強く感じました。

Q 将来の目標や目指す進路は?

Answer 生活者に一番身近な立場に常に立ち、より多くの人を後押しする人になりたいと考えています。情コミで過ごした4年間の中で、ゼミナールでの活動等様々な価値観に触れることができた反面、それぞれが相互に理解し合うことの難しさを痛感しました。ここで得た知見を活かし、発信者と受信者のそれぞれが納得する価値を生み出す一助になりたいです。

## [ 4年次の時間割参考例 ]

科目名の上段は春学期、下段は秋学期

	月	火	水	木	金	土
1	問題解決ゼミナールI	情報産業論	-	組織と情報	-	-
2	問題解決ゼミナールII	-	質的調査分析法	-	-	-
3	-	不確実性下の人間行動	-	-	-	-
4	情報コミュニケーション学	消費行動の心理学	-	-	-	-
5	ジェンダー・マネジメントI	社会調査実習	コミュニケーション論A	-	-	-
6	ジェンダー・マネジメントII	社会調査実習	-	-	-	-
7	総合講義A(データサイエンスA)履修	ジャーナリズム論I	-	-	-	-
8	-	ジャーナリズム論II	-	情報と経済行動	-	-
9	-	-	-	-	-	-

メディア授業科目: 知的財産法I、財産と法I

# ゼミナール教育で得られる 「ガクの情コミ」の醍醐味



ゼミナール（略称「ゼミ」）では、10～15名程度の比較的少数の学生がひとりの教員とともに、通常の大教室の授業では得られない双方向のコミュニケーションをとりながら学んでいきます。大学で学ぶことの初歩から専門的分野、資料の読み方や議論の仕方、レポート・論文の作成、プレゼンテーションまで幅広く、学んでいきます。大学における「学び」の醍醐味が得られるのがゼミなのです。本学部では、1年次から4年次まで段階的に履修するゼミナール科目を設置しています。1年次は基礎ゼミナール、2年次には問題発見テーマ演習、3年次には問題分析ゼミナール、4年次には問題解決ゼミナールが置かれています。3・4年次は2年間一貫して同一のゼミを取らなければなりません。

## ■ 学年ごとに所属ゼミを変えた場合

自分の問題意識に対する  
アプローチ方法の「引き出し」を  
増やすことができました

4年  
寺阪 快人  
東京都私立  
成蹊高等学校卒業



●なぜ、学年ごとに異なるゼミを  
選択しようと思ったのか教えてください。

1年次の基礎ゼミナールで、ゼミでは専門家である教員と少人数で充実した時間を過ごすことができると知りました。そこで、ゼミという特殊な環境だからこそ、授業や独学よりも濃い学びが得られると考え、2年次以降はこれまで自分が興味を持ってこなかった分野をゼミで学ぶ選択をしました。自由な履修スタイルの本学部は、高校生の頃から文理の枠にとられない学びがしたいと考えていた私にとって、最適な環境です。

●学年ごとに異なるゼミに所属して、  
よかったことは何ですか。

問題意識に対する様々なアプローチの方法を知ることができた点です。学びを深める中で湧いてきた知的好奇心をどう行動に移すには多くの選択肢があります。アンケートを取ったり、文献や資料を読んだり、グループで議論したり。こうした多様なアプローチがあることを知ることができたのは、複数のゼミに所属していたからこそ。ゼミを通して広がった「引き出し」は今後の研究において必ず生きてくると思います。

1年次

竹中 克久ゼミ

「社会を読むー情報に敏感になる」

2年次

小林 秀行ゼミ

「自然災害と社会」

3年次

鈴木 雅博ゼミ

「学校の社会学」

4年次

## ■ 4年間、同一ゼミに所属した場合

興味を深掘りし  
蓄積される知識を  
応用してアイデアを形に

4年  
畑野 日向子  
東京都立  
文京高等学校卒業



●なぜ、このゼミを選択しよう  
と思ったのか教えてください。

高校生の頃から国際支援に関心があったからです。また、1年次に国際交流プログラムでタイを訪れた経験から、さらに国際支援について深く学びたいと思い、4年間このゼミに所属することを決めました。ゼミでは1・2年次に国際経済学や国際支援に関する基礎知識を学び、3・4年次に学んだ知識を応用して商品の開発を行っています。自分の学びを商品という形として残せることもこのゼミに所属した理由です。

●4年間を通して同一ゼミに所属して、  
よかったことは何ですか。

長期間にわたって国際支援に関する専門的な知識を学ぶことで継続力が、学んだ知識を活用しアイデアを形にする中で応用力や思考力が身につけていると感じます。また、ゼミに所属することで、今まで出会ったことのない様々な人と交流することの楽しさを知り、コミュニケーション力も向上しました。ゼミでの経験を生かして、将来は人と協力して何かを成し遂げることを重視した仕事に就きたいです。

1年次

2年次

3年次

4年次

島田 剛ゼミ「国際経済学・国際支援学」

## PICK UP ゼミナール

### 清原 聖子 ゼミナール

#### 現代アメリカ研究 —多角的な視点から現代アメリカ政治と社会について考える—

清原 聖子 教授

本ゼミナールでは、現代アメリカ政治と社会の諸問題について研究しています。ゼミ生にはメディアや大統領選挙に関心のある人もいれば、黒人問題や移民問題をテーマに研究を進める人もいます。3年生はグループワークを重視して、アメリカ政治、社会の基本的な特徴や枠組みを日本と比較しながら理解していきます。4年生は、アメリカ研究の中で各自の関心分野を掘り下げて、個別に研究を進めます。また、学部主催のバーチャル研究交流祭に参加してグループによる研究発表を行いますので、チームワークとプレゼンテーション能力を養うことができます。留学生や留学希望者も歓迎します。

PROFILE -----  
清原 聖子：専門は現代アメリカ政治とメディア・ICT政策。学部では情報政策論と現代アメリカ政治論（2023年度開講）を担当しています。米国・ジョージタウン大学の教授と共同研究を行った経験も活かして、現在は学内の複数の教員と特定課題研究ユニット（現代アメリカ研究所）を立ち上げ、アメリカの政治コミュニケーションの変容に関する研究を行っています。



### 宮本 真也 ゼミナール

#### 社会学、社会哲学における理論を通じ 身近な現象を見つめる

宮本 真也 教授

「現代社会と社会理論」というテーマのもとで、私たちが現代において疑問に思う問題について、学生の関心に耳を傾けながら一緒に考えていきます。考え方の基本は、社会学、社会哲学における抽象的な理論ですが、取っつきにくそうに見えて、実は私たちの身近な現象を言い当てたり、説明していることに気づいてもらえるようにしています。これまで「スポーツにおける暴力と指導」、「幸福を生む産業」、「ネットと格差社会」、「教育格差」、「ラジオ番組と現代」、「現代における幸福」などがテーマとして取り組まれてきました。大学でしかできない「分かる」楽しさと喜びを共有できるように努めています。

PROFILE -----  
宮本 真也：専門は社会学、社会哲学。コミュニケーションと社会的承認をキーワードに、社会の発展のダイナミズムとそれに付随して生じる社会的な病理に関心があります。社会は進歩しているはずなのに、どうして生きづらいのか、どうして生活が苦しい人々がいるのか、ジェンダーやセクシャリティ、生き方をめぐって、どうして私たちはまだそれほど自由で平等ではないのか、そうした原因について考えています。



### 内藤 まりこ ゼミナール

#### 言語表現を理論を用いて分析し、 自分や世界の深層を解明する

内藤 まりこ 専任講師

私たちは生まれたときから小説や映画、漫画、音楽など様々な言語表現に囲まれて生きています。でも、そうした言語表現を単なる娯楽として享受することで満足してしまいませんか？本ゼミナールではあらゆる言語表現のその深層に「批評理論」という道具を用いて迫っていきます。自分の過去や社会と密接にかかわっている表象作品をじっくり味わいながら、ゼミ生の疑問を丁寧に紐解いていくことができる場所が内藤ゼミです。歴代の先輩や同期のゼミ生たちとともに議論を積み重ねながら、これからの人生がより豊かになる経験や思考を獲得することを目指しています。

PROFILE -----  
内藤 まりこ：専門は、比較文学・比較表象論です。内藤ゼミでは、日本だけでなく様々な地域の文学や映画、漫画、アニメーション等の表象作品を取り上げ、批評理論と呼ばれる研究領域の蓄積を分析に活用して作用を読み解き、作品の解釈やその背後にある社会構造や規範を解き明かす試みを行っています。



### 坂本 祐太 ゼミナール

#### 私たちの身の回りにある「ことば」の 不思議を発見・分析・解決する

坂本 祐太 准教授

私たちが日頃何気なく使っている「ことば」には、実は様々な不思議が潜んでいます。たとえば「マロリーヌ」と「チョリッツ」というお菓子の名前では、前者の方が甘くて柔らかそうな印象を感じるのはどうでしょうか？また、どうして私たちはあまり気が乗らない他人からの誘いを断る際に、わざわざ相手に配慮して断る理由を考えたり、時には嘘をついたりするのでしょうか？本ゼミナールでは、このような「ことば」の不思議をゼミ生が主体的に見つけ出し、その謎を言語学の理論に基づき解き明かすことを目標としています。

PROFILE -----  
坂本 祐太：専門は言語学（生成文法統語論）で、特に「ことば」の省略現象を中心に研究を進めています。情コミでは自分の研究分野だけでなく、様々な観点から「ことば」の面白さを伝えるべく日々努力しています。日本の大学を卒業後にアメリカの大学院で学位を取得した経緯から、英語の勉強法や留学の相談に乗ることも多くあり、様々な面で充実した大学教員生活を送っています。



# 「ガクの情コミ」学部ならではの 多様な科目

## 外国語科目群

### 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ

#### ドウ,ティモシー J. 専任講師

This course teaches English communication skills so that you can use English to interact with people from around the world. In every class, students have many opportunities to use English and develop their communication skills in group discussions and activities.



4年  
**小山 奈夏**  
滋賀県立  
米原高等学校卒業

英語での会話能力を高めるだけでなく、論文の構成方法や内容、またコミュニケーションにおける言葉のニュアンスといった英語表現における学術的な部分を学ぶことができます。講義に加え、学生同士で意見交換する機会も多いため、モチベーションを高めながら学習できます。個人の能力に合わせたアドバイスもいただけるため、英語を学びたい人なら誰にでもお勧めできる授業です。

## 情報リテラシー科目

### プログラミング実習Ⅰ・Ⅱ

#### 山崎 浩二 准教授

私たちはなんらかのソフトウェア=プログラムを通してコンピュータを利用します。従って、プログラムがどのように動作し、どのように作成されるのかを理解することは、コンピュータに対する理解を深めるために重要です。この科目では、プログラミング言語としてJava言語を用い、実習を通してプログラミングの基礎を学びます。



1年  
**松尾 光晟**  
神奈川県立  
大船高等学校卒業

初心者の方、少しでも興味のある方にぜひ受講していただきたい授業です。僕は文系で苦手意識を持っていましたが、丁寧な指導により、後れを取ることもなく理解できました。学んだ内容を実践することで、基礎的なプログラミングの知識と実践力が身につきます。またプログラミングがうまく実行されない際に、誤っている部分を見つけ改善する過程で、問題発見能力も養われました。

## 日本語表現科目

### 日本語表現Ⅰ・Ⅱ

#### 内藤 まりこ 専任講師

日々私たちは自分とは異なる経験、背景をもつ様々な人々に出会っています。「日本語表現」では、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを人々に分かりやすく伝えるための方法や技術を体得し、本学部の目指す教育目標の基礎を培うことを目指します。「日本語表現Ⅰ」では、「書くこと」に焦点を絞り、日本語表現の諸形式を学び、目的や状況に応じた日本語での作文の技術を身につけます。「読むこと」を中心とする「日本語表現Ⅱ」では、様々な形式による日本語表現の読解を通じて、日本語を取り巻く多様なテーマについて考察し、自らの思考を複数の表現形式にまとめる実践も行います。



1年  
**高橋 京**  
東京都立  
小山台高等学校卒業

この授業では大学での学びにおいて欠かせない論文やレポートについて学習できます。少人数体制での授業と実践的な課題により確実に能力を身につけられる点が魅力です。論文での引用の仕方から依頼文など社会で必要となる、文章の書き方まで幅広く学修。この授業を通じて得た様々なジャンルの文章を読み書きする力は、大学の学習の全ての根底となると 생각합니다。

## クリエイション科目

### デジタル・アートA・B

#### 宮川 渉 特任准教授

私たちは自分の考え、感情などを常に表現して生活をしていきます。その意味では誰もが表現者であり、クリエイターであるといえます。これまで作曲は専門的な訓練を積まないと不可能だと考えられてきました。しかし、今日のテクノロジーの進歩により、パソコン1台で誰もが創作者になることが可能になりつつあります。パソコンのソフトウェアを用いた音楽制作の実践を通じて受講者自身の表現力と創造性を高められる授業を目指しています。



4年  
**重田 翔吾**  
神奈川県立  
小田原高等学校卒業

知識や技術がなくとも、「人の心に残る音楽を作りたい」という熱い思いをもつ人にお勧めの授業です。私自身も以前から音楽制作に興味がありましたが、技術を身につける難しさから、独学に限界を感じていました。授業を通して、音楽制作の仕組みを体系的に学べたおかげで、現在では理論に基づいた説得力のある音楽が制作できるようになりました。

## リサーチリテラシー科目

### 科学リテラシー

#### 石川 幹人 教授

マイナスイオンにゲルマニウム、コラーゲンからデトックスまで、人体に有効とされるもののブームが現れては消えていきます。それらには十分な科学的証拠がないまま、宣伝ばかりが先行しています。科学の信頼をよそった疑似科学ビジネスなのです。自然科学はもとより、社会科学や人間科学の発展が文明を支えてきましたが、科学の先端では不確実な理論やデータがあふれています。本授業では、科学的なものの見方や考え方を身につけ、科学と疑似科学とを適切に評価できるようにします。高校まで確実な知識ばかりを習ってきた方には、目からウロコが落ちるような体験があるでしょう。



2年  
**瀬尾 美菜**  
京都府  
京都市立西京高等学校卒業

この授業では食品や化粧品など身近なものを通して、科学と日常生活のかかわりを知ることができます。科学的根拠があるように見えて、実は根拠に乏しい「疑似科学」を中心に学習しました。科目名から理系の素養が必要に感じられるかもしれませんが複雑な数式や専門用語はほとんど出てきません。理系科目が苦手な方もぜひ受講してみてください。

## キャリアデザイン科目群

### キャリアデザイン

キャリアデザイン科目群では、1年次に「キャリアデザイン」、2年次に「インターンシップ入門」、3年次に「インターンシップ」の科目を設置し、大学卒業後に社会で働くことについて主体的・実践的に学べるよう充実したプログラムを提供しています。「キャリアデザイン」では、企業やNPO等の第一線で活躍されている方々から、仕事や学生時代について話を聞き、働くことの意味について考えます。「インターンシップ入門」では、ビジネスマナー講習や業界・企業研究を通じて、より実践的にインターンシップの概要を学びます。「インターンシップ」では、高度情報社会を牽引する企業から与えられた課題に対して、グループワークを通じて解決策を提案することで、リアルなビジネスの機会を体験します。



2年  
**小林 聖渚**  
東京都私立  
田園調布学園高等部卒業

授業を通して様々な分野のプロフェッショナルから生の声を聞くことができます。興味のある分野において、これからのキャリア形成で取るべき行動や必要な素養について学ぶことができる上、今まで関心なかった分野についても考えるきっかけが得られます。これからのキャリアについて考える上でのヒントが得られ、将来ビジョンの決定に大いに役立つ授業です。

# 情報コミュニケーション学部の 国際交流プログラム

情報コミュニケーション学部では学部独自の短期学生交流プログラムを積極的に推進しています。

## タイ・ラオス

シーナカリンウィロート大学、モンクット王ラカバン工科大学、ラオス国立大学との短期学生交流プログラムを実施

タイへの学生派遣プログラムおよび本学への受入プログラムを実施し、海外との学生交流を深めています。タイのシーナカリンウィロート大学、モンクット王ラカバン工科大学、ラオス国立大学との短期学生交流プログラムを実施します。



日本文化体験

### タイ・ラオスからの学生受入プログラム

このプログラムでは、タイのシーナカリンウィロート大学人文学部、モンクット王ラカバン工科大学教養学部、ラオス国立大学文学部の3大学から学生を約3週間受け入れ、「タイへの学生派遣プログラム」に参加する学生が、受入サポートを行います。来日した学生は、本学部講義への参加や山中セミナーハウス合宿への参加、企業訪問を通じて、日本語や日本文化への理解を深めます。

### タイへの学生派遣プログラム

このプログラムの目的は、異なる社会や文化背景をもつ同世代の学生と交流し、自国文化について認識を深め、異なる文化を尊重できるようになることです。さらに、海外、特にアジアで働くことについて積極的な態度で臨めるようになることを目的としています。参加学生は、タイ文化を事前に学んだ後にタイへ出発します。約2週間、シーナカリンウィロート大学にて比較文化ワークショップや授業に参加したほか、在タイ日系企業を訪問、そしてアユタヤ遺跡や王宮などを見学します。学生たちは国籍が違いながらも、勉強だけでは分からないお互いの国の文化について話し合い、交流プログラムの目的を果たします。短い期間の中で、タイの文化や社会を自分の目で確かめることができる内容のプログラムです。



タイ料理の文化体験

現地学生とディスカッション

## ベトナム

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学、ハノイ大学などの短期学生交流プログラムを実施

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学およびハノイ大学の日本語学部の学生と、この30年で急成長を遂げたベトナムと課題先進国である日本との比較・交流学習をベトナムへの学生派遣と本学への受入プログラムにより実施します。



サポーター学生企画の習字教室

### ベトナムからの学生受入プログラム

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学日本語文化学部およびハノイ大学から、約3週間の受け入れを実施します。受入プログラム期間中は、派遣プログラムに参加する学生がサポーターとなり、受入学生の学習支援や大学生活のサポート、大学内や都内の案内をします。言語・文化の交流学習を通して、国際連合の持続可能な開発目標を指標に環境・観光・文化などについて共同調査を行います。

### ベトナムへの学生派遣プログラム

このプログラムは、約2週間にわたり、国際連合の持続可能な開発目標に基づいて「持続可能な都市社会形成」や「持続可能な観光開発」について、そして、日越のサブ・カルチャーについて、またベトナムは我が国と中国の脅威を共有する安全保障上の重要なパートナー国であるため国際社会観などについて、ベトナムの学生とともに国際共同調査を実施し、その報告会を現地で実施します。



UN HOUSEでの報告会

## ニュージーランド

ニュージーランド海外ロケ体験プログラムをフジテレビと共同で実施

ニュージーランドのオークランドで行う海外ロケ体験のほか、メディアに関する事前講義や機材の扱い方の習得、そしてロケ終了後はフジテレビ湾岸スタジオの専用スタジオでの模擬番組制作をプロの番組ディレクターの指導の下で行います。番組制作の一連の作業を通して、制作者の視点からメディアリテラシー(=テレビを見る目)を養うことを目指します。



事前学習で入念に下調べ

### 事前学習

メディアリテラシーに関する講義の後、テーマごとにグループに分かれ、取材のネタを探しに、取材先のリストアップ、現地リサーチなどを行います。現地取材をする際に使用するカメラ機材の使い方やインタビューの仕方についても、プロの番組ディレクターからレクチャーを受けます。

### 現地ロケ

積極的に取材先への下見や街頭録音(街頭インタビュー)、現場リポートなどにチャレンジします。さらに学生自身が事前に準備した取材プランによりインタビュー・撮影を行います。インタビューの文字起こしを行いながら、取材内容を基に、番組制作の構成原稿を作成していきます。



現地の人との交流

オークランドでのロケの様子

フジテレビ湾岸スタジオでのリハーサル



本格的な機材を使った収録



裏方の活躍

### 事後学習・スタジオ撮影

スタジオ撮影では、完成したVTRを使いプロのスタッフ指導の下、実際に番組制作にも使用されている撮影機材等を動かし番組収録に臨みます。番組に出演するキャスター、ナレーターだけではなく、番組進行を指示するプログラムディレクター、スタジオ進行を指示するフロアディレクター、そのほかにもカメラマン、音声、スイッチャー(映像の切り替え作業担当)などの裏方の仕事までのすべてを学生たちが担当し、番組制作の一連の過程を学びます。本番組のリハーサルでは、担当する役割ごとに機材の操作方法や収録の流れを入念にチェックし、一発勝負の本番に挑みます。本番組終了後には、収録した番組をプレビューし、各学生が思い思いに授業を通じて感じたことを振り返り、フィードバックを受けます。完成した動画(2018年度)は右のQRコードで閲覧可能です。



参加学生からは、「いつも見ているテレビ番組の制作側を体験できたことは、とても貴重な機会だった。」「現地の人と交流をすることで、ニュージーランドの文化を深く知ることができ、良い経験になった。」「このプログラムを通じて、積極的に物事に取り組む姿勢が身についた。今後もこの姿勢を忘れず、何事にも挑戦していきたい。」などの声上がる、満足度の高いプログラムです。

## 情報コミュニケーション学部の独自の学部間協定留学

学部間協定留学とは、情報コミュニケーション学部が独自で協定を締結している大学・学部、に、交換留学生として半年または1年間留学するプログラムです。

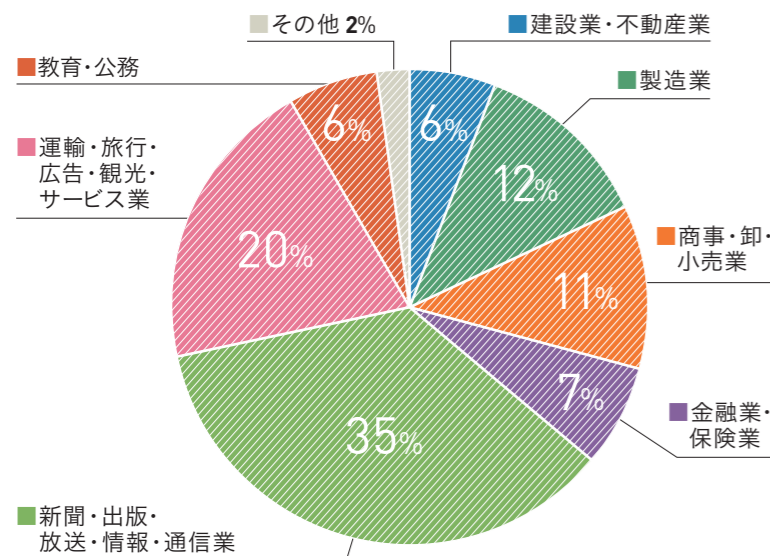
協定校	シーナカリンウィロート大学 人文学部	香港城市大学 人文社会科学院	ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 日本語文化学部	ハノイ貿易大学	ゲーテ大学 言語学・文化学・芸術学部
所在地	タイ・バンコク	中国・香港特別行政区	ベトナム・ハノイ	ベトナム・ハノイ	ドイツ・フランクフルト
授業言語	英語/タイ語	英語	英語	英語	英語/ドイツ語





# 情報コミュニケーション学部の就職実績

業種別 就職状況 (2022年度卒業生)



## 主な就職先企業・団体名

<b>建設業・不動産業</b>	・戸田建設(株)	・大和ハウス工業(株)	・横水ハウス(株)
	・三菱HCキャピタル(株)	・三菱地所レジデンス(株)	
<b>製造業</b>	・コクヨ(株)	・(株)ニコン	・富士通(株)
	・三菱電機(株)	・(株)日立製作所	・凸版印刷(株)
	・(株)バンダイ	・旭化成ファーマ(株)	
<b>商事・卸・小売業</b>	・住友商事(株)	・P&Gジャパン合同会社	・リコージャパン(株)
	・(株)ニトリ	・(株)ヤオコー	・イオンリテール(株)
	・(株)成城石井	・(株)サンゲツ	
<b>金融業・保険業</b>	・(株)ジェシービー	・(株)りそな銀行	・(株)商工組合中央金庫
	・三菱UFJ信託銀行(株)	・オリックス生命保険(株)	・第一生命保険(株)
<b>新聞・出版・放送・情報・通信業</b>	・朝日放送テレビ(株)	・(株)東北新社	・日本放送協会
	・楽天グループ(株)	・(株)セールスフォース・ジャパン	・富士通Japan(株)
	・ヤフー(株)	・東映(株)	・(株)NTTドコモ
	・日本アイ・ピー・エム(株)		
<b>運輸・旅行・広告・観光・サービス業</b>	・(株)東京ドーム	・(株)よみうりランド	・東京地下鉄(株)
	・(株)マイナビ	・(株)星野リゾート・マネジメント	・吉本興業ホールディングス(株)
	・日本航空(株)	・(株)バンダイナムコミュージアム	・(株)ジャニーズ事務所
	・びあ(株)	・(株)リクルート	・中部電力(株)
<b>教育・公務</b>	・東京都庁	・埼玉県庁	・国税専門官
	・国家公務員(一般職)	・兵庫県教育委員会	・(学)明治大学

(順不同)

# 情報コミュニケーション学部で取得できる資格

## 教員免許状

情報コミュニケーション学部では、指定された科目を修得すれば、次の教員免許状を取得することができます。

中学校教諭一種免許状	社会、外国語(英語)
高等学校教諭一種免許状	公民、外国語(英語)、情報

教員免許状を取得するためには、次のような科目群の単位修得が必要です。

- 学士(情報コミュニケーション学)の取得に必要な単位(つまり学部を卒業できる条件を満たすこと)
  - 免許状に応じた指定科目
  - 「教職に関する科目」
- ※詳しくは『資格課程案内』をご覧ください

## 学芸員、社会教育主事、司書、司書教諭

指定科目の修得により卒業と同時に取得できます。

## CCNA (シスコ技術者認定資格)

CCNA (Cisco Certified Network Associate)とは、ネットワーク関連製品(CISCO Networking Academy)の最大手であるシスコシステムズ社が認定する資格で、中小規模のネットワークの構築・運営・管理が可能な能力を身につけていることを証明するものです。CCNA資格の取得のための授業としては「ネットワーク技術Ⅰ～Ⅳ」が用意されています。動画や音声を活用したWeb教材が用意されていて自分のペースで学習を進めることができるようになっていきますし、授業ではネットワーク機器を使って実際にネットワークを構築し実際的な問題に対処するなどの実践的な実習も取り入れられています。

## 社会調査士

この資格は社会調査をすることのできる知識と技能を有していることを証明する資格です。社会調査には、マーケティング調査、コミュニティ・企業・学校などにおける意識調査など様々なものがありますが、社会科学的手法に従い多様な社会現象を理解し、諸現象の因果関係などを明確に提示するのに有効な手段です。社会調査協会に認定された科目(全部で7種類、うち一部選択)を修得して卒業すると、試験を受けることなく社会調査士の資格を得る条件を満たします。

# 情報コミュニケーション学部生の1日

## ひとり暮らしの場合



自分の生活すべてに責任を持つからこそ成長できている実感があります

2年  
正司 彩音  
大阪府立岸和田高等学校卒業

### ひとり暮らしを選んだ理由と、実際の感想を教えてください。

上京への強い憧れと、両親から離れたところで生活して自立したいという思いから、ひとり暮らしを選びました。実際に暮らしてみると家事など大変なことも多く、両親の偉大さを実感する毎日です。家事や体調管理、学業とアルバイトの両立など自分の生活すべてに責任を持つ経験は必ず自分の成長につながると思います。

### 普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

週に5日大学へ行き、アルバイトも週に5日から6日ほど行っています。アルバイト先は明大マートと映画館。明大マートのアルバイトは週に2日、空きコマを利用して働いています。授業は1限が多いため、早寝早起きは必須。忙しい日々の中で、体調管理には何よりも気を遣っています。

## ある日のスケジュール

- 7:00 起床**  
まずは天気予報をチェック。朝ごはんは軽く済ませます。
- 9:00 中国語AⅡ**  
中国語の文法や会話を学びます
- 10:50 空きコマ**  
学内の明大マートでアルバイト。時間を有効活用できます
- 13:00 昼食**  
いったん帰宅して昼食をとります。お昼は種類が多め
- 13:30 環境生物学**  
今期はオンデマンド。人間と環境の進化や関わりについて考えます
- 15:20 English skills BⅡ**  
ディスカッションを中心に英語のコミュニケーションについて学びます
- 18:00 映画館でアルバイト**  
ポップコーンやグッズを販売しています。忙しいですが、やりがいがあります
- 23:00 帰宅**  
買い物を済ませて帰宅。遅めの夕食を食べます
- 24:30 就寝**  
翌日のスケジュールを確認してから就寝



## 1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り	120,000円
アルバイト	80,000円
合計	200,000円
支出	
家賃	80,000円
食費	20,000円
光熱費	10,000円
交際費	40,000円
貯金	30,000円
趣味その他	20,000円
合計	200,000円

## 自宅から通学の場合



空き時間も有効活用し、充実した毎日を送っています

1年  
川畑 夢大  
神奈川県立鎌倉高等学校卒業

### 自宅から通うメリット・デメリットを教えてください。

通学時間を活用し、電車内で授業の予復習ができます。また音楽やラジオを聞いたり、本を読んだりするのも楽しみの一つです。一方で大学まで約1時間半かかり、通学だけで少し疲れてしまうことも。1限がある日は朝が早いので、慌てないよう、前日に準備しておくことを心掛けています。

### 普段はどのような大学生活を過ごしていますか？

授業のない時間は課題やアルティメットの練習をしています。放課後の楽しみは友達との食事です。土日はアルティメットの練習や雄弁部の活動に参加。一日中予定のない日はほとんどありませんが、空き時間を活用し、映画や音楽などの趣味も楽しんでいます。

## ある日のスケジュール

- 6:00 起床**  
朝ごはんは必ず食べるようにしています。天気予報も忘れずに確認。
- 7:00 登校**  
通学中は音楽鑑賞や読書の時間に。ときどき授業の復習も。
- 9:00 English Skills AⅡ**  
スピーキングとリスニングを中心に学びます。
- 10:50 社会学**  
社会の仕組みや理論を学びます。
- 12:30 昼食**  
友達と談笑する時間。
- 13:30 言語学**  
言葉の仕組みや社会とのつながりを学びます。
- 15:15 図書館へ**  
アルバイトまでの時間を図書館で。課題や読書に没頭できる場所。
- 17:00 アルバイト**  
和食の定食屋でホールのアルバイト。接客を通じて社会勉強。
- 22:30 帰宅**  
遅めの夕食を食べ、本を読んだりして自分の時間に。
- 24:00 就寝**  
翌日の準備も忘れずに。



## 1カ月の生活費(収支)

収入	
仕送り(昼食代・交通費)	20,000円
アルバイト	40,000円
合計	60,000円
支出	
食費	10,000円
交際費	10,000円
貯金	15,000円
衣類・趣味等	25,000円
合計	60,000円

# 各分野で活躍している卒業生たち

## 放送局



**株式会社福岡放送 勤務**  
**山本 康聖さん**  
福岡県立修猷館高等学校卒業  
2019年4月、株式会社福岡放送に入社。  
報道部所属

### 情コミで参加した実践的なプログラムがテレビ業界を志すきっかけに

卒業後は地元に戻り福岡のテレビ局へ入社。1年目から記者として事件や事故を中心に取材をしてきました。2年目で転勤した北九州支局では、保育園送迎バスでの置き去り事故や旦過市場における2度の火災など、全国に放送されるニュースの現場で、関係者や被災者の声を集めました。また、日々のニュースの取材と並行して水害や戦争など自分の興味のある分野について長期取材を実施。ドキュメンタリー番組として、放送するチャンスも得ました。2022年10月からは、朝の情報番組のディレクターとして生番組の制作を担当しています。

学生時代には、情コミとフジテレビが共同で行っ

ている「国際交流(メディア)」に参加。ネタ探しから海外ロケ、台本の作成やスタジオでの収録など実際の番組づくりに近いプログラムを体験しました。現場でしか分からないことを多くの人に伝える楽しさを実感し、テレビ業界を志す大きな契機となりました。情コミは、目標が決まっていない人はそれを見つけ確かなものにする、目標が決まっている人は学びを積み重ね自分を磨くことができる場所だと感じます。

私の信念は、「明日、誰かが泣かないための報道をする」こと。今後も、より視聴者に伝わりやすくするための工夫や深く知ってもらうための番組作り挑戦し続けたいです。

## メーカー



**パナソニック コネクト株式会社 勤務**  
**小野 緋里さん**  
東京都私立東京女子館高等学校卒業  
2020年4月、パナソニック株式会社に入社。  
メディアエンターテインメント事業部  
事業開発センター 戦略企画部所属

### 様々な文化・人・考え方に触れた経験が価値観を大きく変えました

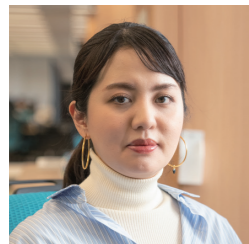
プロジェクターやカメラを扱うBtoBの事業部で、新規事業のマーケティングを担当。業務内容はテーマパーク業界へのサービス提案書の作成や、映像制作業界向けサービスのUX(ユーザー体験)検討などです。私たちの商材は皆さまが目にするエンターテインメントを支えています。その使用現場を訪れ、感動している方々を見るのが大きなやりがいです。

情コミで印象に残っているのは学部間協定校への留学。人との付き合い方、自分のあり方、ものの見方など、価値観を大きく変えてくれた経験です。様々な文化・人・考え方に触れ、多角的な視点を得

ることができ、性格もよりアクティブかつオープンになりました。この留学は私の人生のターニングポイントであり、仕事においてもお客様視点を考える上で、また人との付き合いの上で、非常に役立っています。

入学時は将来やりたいことが定まっていなくても、卒業する頃には自分に合った、自分がやりたいことが見つかるはず。思わぬ新しい自分を発見できるかもしれません。情報コミュニケーション学部に入社して、ぜひ様々な新しいことに挑戦してみてください。

## 新聞



**株式会社朝日新聞社 勤務**  
**加藤 美帆さん**  
北海道札幌南高等学校卒業  
2010年4月、朝日新聞社に入社。  
総合プロデュース本部  
デジタルソリューション部所属

### 答えの見えない流動的な時代こそ、情コミの学びがいきる

デジタル広告の営業やプランニングを担当しています。入社後10年間は社会部の記者として事件や選挙などのニュースの取材をしてきました。3年前から現部署に配属となり、広告の記事や動画を制作しています。若い世代に新聞社のコンテンツを読んでもらうため、これまでの文字や写真だけの表現にとどまらない表現方法を模索しています。

情コミは、学べる分野が決まっていません。テーマが広く、抽象的な側面があるからこそ、多様な視点を育むことができたと感じています。情コミに入っていなければ会うことなかった人々との偶然の出会いから、興味のない分野に触れることとなり、視

野が広がりました。この経験で得た視点やコミュニケーション能力は、現在の仕事でも生きています。また、多彩なテーマを学ぶからこそ、広い選択肢から何を選び取るのかを考え、行動するハングリー精神も身についたと感じます。

若い世代にニュースをどう届けるか。新聞社ではデジタルを活用した打開策の考案が急務となっています。情コミで培われた、自ら道を切り拓き自力で答えを導き出す力で、新しい新聞の形を作っていきたいです。答えの見えない流動的な時代だからこそ、広い視野やハングリー精神が大切だと思えます。

## 金融



**株式会社日本政策金融公庫 勤務**  
**藤田 耶真子さん**  
東京都私立工学院大学附属高等学校卒業  
2022年4月、株式会社日本政策金融公庫に入社。  
中小企業事業融資課所属

### 多様な情報とコミュニケーションする力が、業務に活かされています

私は現在、中小企業を対象として融資をご提案する業務を担当しています。公的な政策金融機関として、相手が真に求めておられるサポートに取り組むことがやりがいです。

情コミで特に印象に残っているのは、入学直後に受講した基礎ゼミでの学びです。ここでは、文献などから出てくる数多くの情報の中から重視する情報を見極め、それらを統合して解釈する力が養われました。学問の基礎よりも先に、学問に触れるための土台として「情報の取り扱い方」を学べたことは、私の原点となりました。

この学びは仕事でも発揮されています。業務におい

ては金融という仕事柄、取引先の事業や資金繰りに問題がないかを常に見定める必要があります。提示された情報の中で相手の状態を正しく判断する際に、基礎ゼミで修得した情報を読み解くスキルが発揮されています。現在の目標はとにかく一人前の職員になること。相手から信頼され、任せてもらえる職員になるため、知識・経験ともに積み重ねていきたいです。

情コミは、とにかく自由な学部。自分の可能性を信じて扉を叩けば、応えてくれる環境が整っています。ぜひ、ここで多種多様な学びを得て、思い描いた未来へ進んでください。

## 運輸



**全日本空輸株式会社 勤務**  
**榎本 涼花さん**  
千葉県立千葉東高等学校卒業  
2019年8月、全日本空輸株式会社に入社。  
客室センター所属

### 多様な学びを通して、自分の進むべき道が見つかりました

国内線・国際線に乗務する客室乗務員として勤務しています。客室乗務員には、機内の安全を守る保安要員と、目的地までお客様に快適に過ごしていただくサービス要員という2つの役割があります。同じフライトは二度となく、毎便、新たな発見や学びがあることがこの仕事のやりがい。また、国内や海外各地へ足を運ぶことができるのも魅力です。

情コミは、ディスカッションやプレゼンなど参加型の授業が多く、自分の意見の伝え方や他者の意見の多様さを学びました。この学びは、様々な価値観を持ったお客様やクルーと接するうえで、違いを受け入れ理解しコミュニケーションを図ることに生きている

と感じています。今後もさらに接客や語学のスキルを磨き、柔軟でグローバルな視野を持った客室乗務員を目指して、努力を続けたいと思います。

私は高校生の頃、将来の夢が決まっていなかったのですが、情コミで興味のあるメディアや異文化、芸術などを幅広く学ぶことで、好きなことややりたいことを見つけたことができました。今、将来の方向性が決まっていなくても、情コミには様々な世界を見るチャンスがあるので大丈夫。ぜひ情コミで自分の好きなことを見つけ、充実した4年間を送ってください。

## 教員



**山梨県立身延高等学校 勤務**  
**保坂 俊希さん**  
山梨県立韮崎高等学校卒業  
2022年4月、山梨県立公立高校に入職。  
教諭として勤務

### ゼミで学んだ「固定観念に縛られない」考え方が教育に生きています

担当教科は公民科。1年生の副担任をしながら、教務係としても日々奮闘中です。生徒たちのエネルギーが自分を奮立たせる力になっており、大卒ルーキーとして生徒たちと近い目線で接することができていると思います。

情コミでは幅広い分野について学びました。今でも印象に残っているのは1年次に履修した「哲学」や2年次に履修した「政治学」。正解のない問いに対し、自分と異なる意見も受け入れ、様々な考えを参照しながら思考する力が身につきました。また、1年次から基礎ゼミに参加し行動経済学を学べたのは、とても良かったです。

ゼミで触れたクリティカルシンキングは現在の仕事でも生きています。教育には様々な予期せぬことがつきものです。その際、固定観念に縛られないことは特に重要で、常識にとらわれず、生徒にとって何が最適か考えることは教育の醍醐味だと思います。

情コミには他学部よりも多種多様な目標を持つ学生が集まり、様々な知見を得られます。情報コミュニケーション学部って何をやるの？と思うかもしれませんが、それは自分自身が決めることです。自ら学び、自らの人生を深いものにする。そんな経験ができるのはこの学部こそだと思います。

# ジェンダーセンターの活動

2004年に開設された情報コミュニケーション学部は、明治大学の女子教育を担ってきた戦前の専門部女子部、戦後の短期大学の伝統を引き継いで、当初よりジェンダー研究の推進を、学部の理念のひとつとして掲げてきました。社会的、文化的に形成された性をめぐるイメージや役割である「ジェンダー」の問題を中心に、さらに多様な生き方を実現する社会の理想としての「ダイバーシティ」と、私たちの「私らしさ」を築き上げるために重要な要素である「社会的承認」を手がかりに、公正な社会実現のための双方向コミュニケーションのあり方を追求することは、情報コミュニケーション学の重要な課題のひとつです。2010年4月にジェンダーセンターが設置されて以降、国内外と連携してシンポジウム・特別講演会・学生向けイベント等を実施しています。



ジェンダーセンター長 牛尾奈緒美教授



ジェンダーセンター QRコード

- ジェンダーセンターの活動実績**
- **上映会** 「映画『道草』」上映会・トークイベント
  - **シンポジウム** 「アイドルから考える「フェムテック」——若年女性の健康管理とそのテクノロジー化をめぐる」
  - **特別講義** 企業トップの考えるダイバーシティ・マネジメント

# 入試情報

## 学部別入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日
357名	1月4日(木)～1月22日(月) ※ 締切日消印有効	2月8日(木)	2月15日(木)9:30	3月5日(火) ※ 締切日消印有効

入学試験時間割・配点			試験科目
1時限	2時限	3時限	
10:00～11:00 (60分)	12:00～13:00 (60分)	14:20～15:20 (60分)	外国語 …………… 英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 国語 …………… 国語総合(漢文を除く) 地理歴史・公民…………… 世界史B、日本史B、政治・経済、数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B「数列・ベクトル」)から1科目選択
外国語(配点100点)	国語(配点100点)	地理歴史・公民・数学(配点100点)	

## 全学部統一入学試験

学科(募集人数)	出願期間	入学試験日	合格発表日時	入学手続締切日	試験会場
25名	1月4日(木)～1月17日(水) ※ 締切日消印有効	2月5日(月)	2月15日(木)9:30	3月5日(火) ※ 締切日消印有効	東京(本学キャンパス)、 神奈川(本学キャンパス)、 札幌、仙台、名古屋、大阪、 広島、福岡

利用する「全学部統一入学試験」の教科・科目・配点等			
教科	時限	科目	配点
外国語	1時限 9:30～10:30 (60分)	英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)、ドイツ語、フランス語から1科目選択	150点 ※
● 下記の5教科9科目のうちから2科目を選択し、受験する。3科目を受験した場合には、高得点の科目を利用する。			
国語	2時限 11:30～12:30 (60分)	国語総合(漢文を除く)	200点(100点×2)
地理歴史・公民・理科	3時限 13:50～14:50 (60分)	世界史B、日本史B、地理B、政治・経済、物理(物理基礎・物理)、化学(化学基礎・化学)、生物(生物基礎・生物)から1科目選択	
数学	4時限 15:50～16:50 (60分)	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B「数列・ベクトル」)	
合計(3科目)			350点

※「外国語」は他学部と同一問題[60分(100点満点)]を使用し、配点を150点満点に換算する。

## 大学入学共通テスト利用入学試験(3科目方式)

入学試験日は、「令和6年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
30名	1月4日(木)～1月12日(金) ※ 締切日消印有効	1月13日(土)・1月14日(日)	2月15日(木)10:30	3月5日(火) ※ 締切日消印有効

利用する「大学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、「リーディングの配点100点を200点に換算した点数」、または、「リーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算し、リーディングとリスニングの換算合計点数」のいずれか高得点の成績を合否判定に利用する。	200点
● 下記の2教科3科目のうちから1科目を選択。2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。		
国語	『国語』	200点
数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』 大学入学共通テストの配点100点を200点に換算する。	
● 下記の3教科14科目のうちから1科目を選択。(注)2科目以上を受験した場合には、高得点の科目の成績を合否判定に利用する。		
地理歴史・公民	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』 『地理歴史』、『公民』をあわせて2科目を受験した場合には、第1解答科目の成績を合否判定利用の対象とする。 第2解答科目の成績は合否判定に利用しない。	200点
理科	『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 (注)【理科①】を利用する場合は、【理科①】のうちから2科目を選択し、この2科目をもって1科目とみなす。【理科②】において2科目を受験した場合には、第1解答科目の成績を合否判定利用の対象とする。第2解答科目の成績は合否判定に利用しない。	
合計(3科目)		600点

※【理科①】…「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。※【理科②】…「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

## 大学入学共通テスト利用入学試験(6科目方式)

入学試験日は、「令和4年度大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

学科(募集人数)	出願期間	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
10名	1月4日(木)～1月12日(金) ※ 締切日消印有効	1月13日(土)・1月14日(日)	2月15日(木)10:30	3月5日(火) ※ 締切日消印有効

利用する「大学共通テスト」の教科・科目・配点等		
教科	科目	配点
国語	『国語』	200点
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目 『英語』は、「リーディングの配点100点を200点に換算した点数」、または、「リーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算し、リーディングとリスニングの換算合計点数」のいずれか高得点の成績を合否判定に利用する。	200点
数学	『数学Ⅰ・数学A』	100点
	『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は、高等学校において、これらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込者を含む)に限る。	100点
● 下記の3教科14科目のうちから2科目を選択。(注)3科目以上を受験した場合には、高得点の2科目の成績を合否判定に利用する。 同一教科内について、2科目の使用も可。「地理歴史」、「公民」および「理科」は、第1解答科目・第2解答科目にかかわらず合否判定対象とする。		
地理歴史	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』	200点 (100点×2)
公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』	
理科	『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』、『地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 (注)【理科①】を利用する場合は、【理科①】のうちから2科目を選択し、この2科目をもって1科目とみなす。	
合計(6科目)		800点

※【理科①】…「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指します。 ※【理科②】…「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

## 特別入学試験

● 付属校推薦入試(55名)	● 指定校推薦入試(15名)	詳細は、情報コミュニケーション学部事務室 (TEL.03-3296-4262～64)までお問い合わせください。
● スポーツ特別入試(8名)	● 外国人留学生入試(20名)	



# 明治大学情報コミュニケーション学部がわかる 9つのポイント

## 「ガクの情コミ」って?

学問・研究は楽しい



学際性と多様性

## 学科・科目

1学科 800授業から選択



マイカリキュラム

## 国際・留学

世界を身近に 誰でも挑戦



3ステップの  
国際交流

## 創造と表現

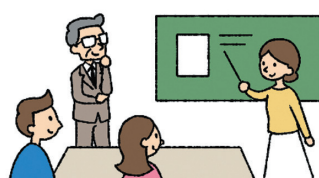
映像・アート・音楽・ダンスなど



あらゆる表現  
を支援

## ゼミナール

専門分野を少人数で



1年生から

## 語学

言語背景も学ぶ



多彩な語学教育

## 研究論文

優秀論文を表彰



情コミ・ジャーナル  
を刊行

## 教員紹介

成長をサポート



多分野で活躍する  
教員たち

## キャリア教育・進路

幅広い就職先



4人に1人が  
マスコミ・通信業界へ

詳しくはこちらを **CHECK!**

受験生のための学部選択ガイド Step into Meiji University

<https://www.meiji.ac.jp/stepinto/infocom>



LINE @meijixam

一人ひとりにぴったりの入試やイベントの情報を  
お知らせ。LINEだけのイベントもやってるよ!!



登録してくれた?

● 明治大学入試総合サイト

<https://www.meiji.ac.jp/exam/>

